

第6次都留市 長期総合計画 中期基本計画

【2019～2022】

～ 都留市総合戦略（第2版） ～



ひと集い 学びあふれる
生涯きらめきのまち つる

目 次

中期基本計画	1
基本計画の位置づけ	2
1. 基本計画の構成	2
2. 都留市総合戦略（第2版）としての位置づけ	3
3. 成果指標	3
4. 計画期間	3
施策体系	5
都留市総合戦略（第2版）	7
1. 基本的な考え方	7
2. 目指すべき人口の将来展望	7
3. 基本目標及び基本的方向、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）等	9
リーディング・プロジェクト	10
1. リーディング・プロジェクトの位置づけ	10
2. リーディング・プロジェクトの方向性	10
3. リーディング・プロジェクトの見方	11
生涯活躍のまち・つる事業の推進	12
1. 事業の目指す方向性	12
2. 体系図	13
3. 成果指標	13
4. 具体的施策	14
道の駅つるを中心とした地域活性化	16
1. 事業の目指す方向性	16
2. 体系図	17
3. 成果指標	17
4. 具体的施策	17
「教育首都つる」のさらなる発展	19
1. 事業の目指す方向性	19
2. 体系図	20
3. 成果指標	20
4. 具体的施策	20
心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり	22
1. 事業の目指す方向性	22
2. 体系図	23
3. 成果指標	23
4. 具体的施策	24

安全・安心のまち「セーフコミュニティ」の推進	26
1. 事業の目指す方向性	26
2. 体系図	27
3. 成果指標	27
4. 具体的施策	27
分野別計画	30
I. 産業・基盤分野「創ります！しごととくらしの充実したまち」	31
政策1 豊かな産業のあるまちづくり	32
政策2 快適で機能的なまちづくり	37
II. 福祉・子育て・健康分野「育みます！優しさと元気のまち」	39
政策1 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり	40
政策2 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり	43
政策3 はつらつとして暮らせるまちづくり	46
III. 教育分野「輝かせます！学びあふれるつるのまち」	48
政策1 知の資源と連携したまちづくり	49
政策2 生きる力を育む学校教育のまちづくり	51
政策3 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり	53
IV. 生活・環境分野「繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち」	56
政策1 いつまでも美しいまちづくり	57
政策2 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり	59
V. 安全・安心、コミュニティ分野「紡ぎます！人と人のつながりのまち」 ..	62
政策1 安全・安心のまちづくり 「セーフコミュニティ」	63
政策2 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり	67
VI. 行財政分野「実行します！新しいステージへ」	71
政策1 健全な行政運営のまち	72
政策2 質の高い行政サービスが提供されるまち	74
成果指標一覧	72
資料編	84
策定の経過・体制	85
1. 策定の経過	85
2. 策定の体制	86
長期総合計画審議会	87
1. 委員名簿（敬称略 50 音順）	87
第1回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の 策定市民・職員ワーキンググループ	87
1. ワーキンググループ名簿（敬称略 50 音順）	87

中期基本計画

平成 31(2019)年～

2022 年

(注)

中期基本計画では、人口減少問題を最重要課題として掲げていることから、令和2（2020）年4月から本計画を都留市総合戦略（第2版）としても位置付け、一体として取り組んでいくこととします。

基本計画の位置づけ

1. 基本計画の構成

基本計画とは、基本構想で示された将来像である「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」を実現させるための手段や、顕在化する課題への対応策を示すものとして定める計画です。

今回の第6次都留市長期総合計画基本計画の中期基本計画では、この将来像の達成をより具体化するため、各「まちづくりの方向」（分野）に位置づけた事業の中から、時勢に沿った重点的な取り組みを完遂するという考え方にに基づき、事業群をリードし、持続可能なまちづくりに対して大きな役割を担うであろう事業を抜き出し、「リーディング・プロジェクト」を位置づけ、積極的に取り組んでいくこととしています。

また、分野ごとの取り組みにおいては、その実現に向けた取り組みを「政策」「施策」「主要な取り組み」へと細分化し、その内容を明らかにしています。また、政策の取り組み成果を測るため、成果指標を設定し、この数値を通して計画の進捗度を計測する形としています。

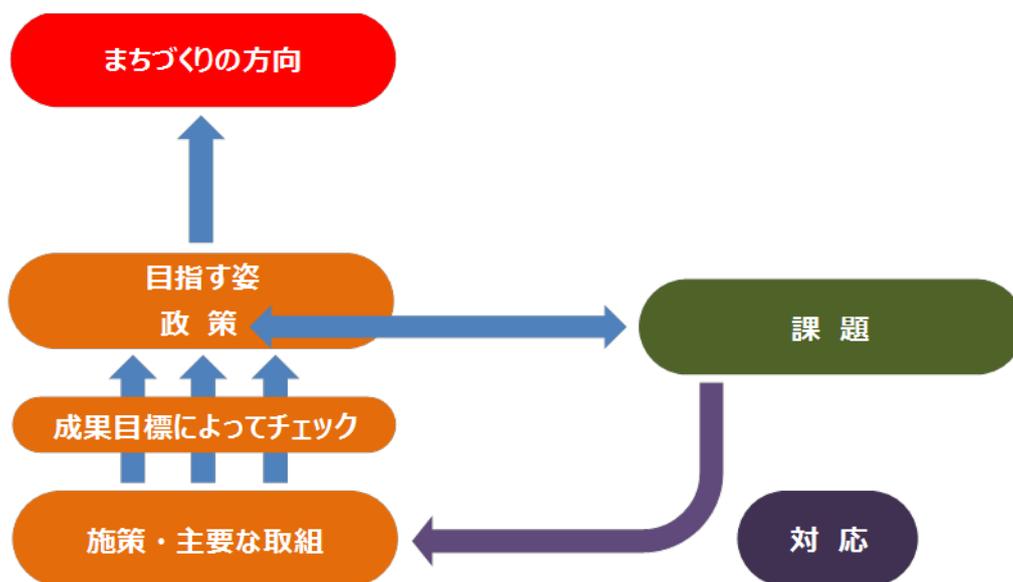
■まちづくりの方向とリーディング・プロジェクト

ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる



基本計画

■基本計画の構成図



2. 都留市総合戦略（第2版）としての位置づけ

第6次都留市長期総合計画中期基本計画は、将来の目指すべき都留市の姿を明らかにし、今後の市政運営の総合的・基本的な指針として、市政の各分野のあらゆる計画やビジョンの基本となる、本市の最上位の行政計画であります。また、具体的な施策・事業、プロジェクト等の立案・実施に向けて、毎年度行われる予算編成の基本となる計画であります。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画では、人口減少問題を最重要課題として掲げていることから、本計画をまち・ひと・しごと創生法第10条に基づく、本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置付け、一体として取り組んでいくこととします。

3. 成果指標

リーディング・プロジェクトと各分野には、成果を重視した指標を定め、その目標を据えています。この目標値を達成することが、計画期間における目標となります。下記のような表において、算出の方法や、目標値に向けて値を増加させるのか、減少させるのか、維持するのかなの方向性を記述しています。また、指標によっては単年度数値の場合には「小計」、複数年度積み上げの場合には「累計」として表示し、累計の場合には現況値を取得した年度を基礎として毎年度の数値を積み上げることであります。

■成果指標の見方

↑:向上 ↓:抑制 →:維持
現状の値と年度が記入されています。

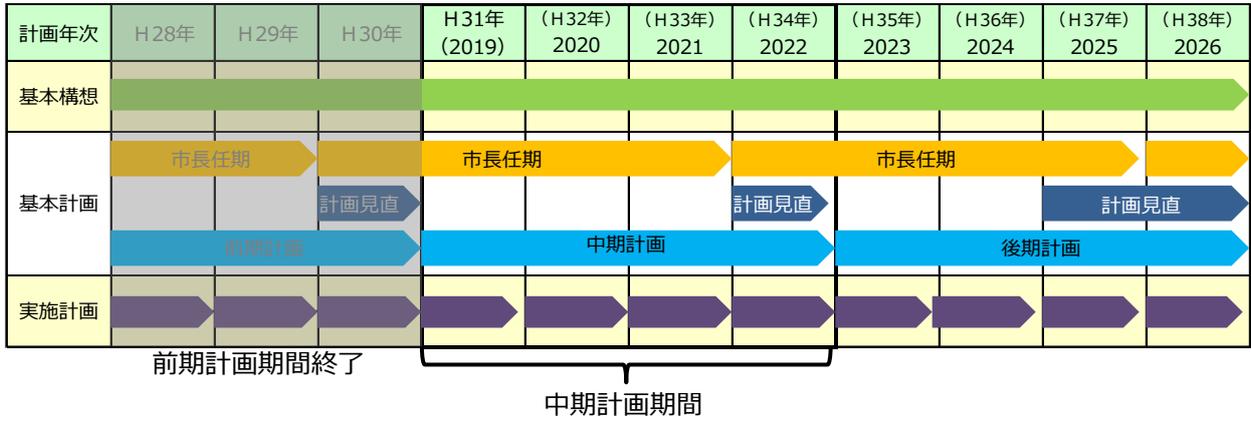
指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
指標の名称を記述しています。	小計 or 累計	数値を算出する根拠を記述しています。	●		●	●	●

計画の中間と最終の目標値です。ただし、統計調査数値を指標とする場合、調査年による目標年次のズレや、直近の調査がないなどにより、設定が不可能な場合があります。この場合、複数の指標設定をし、目標達成を補完します。

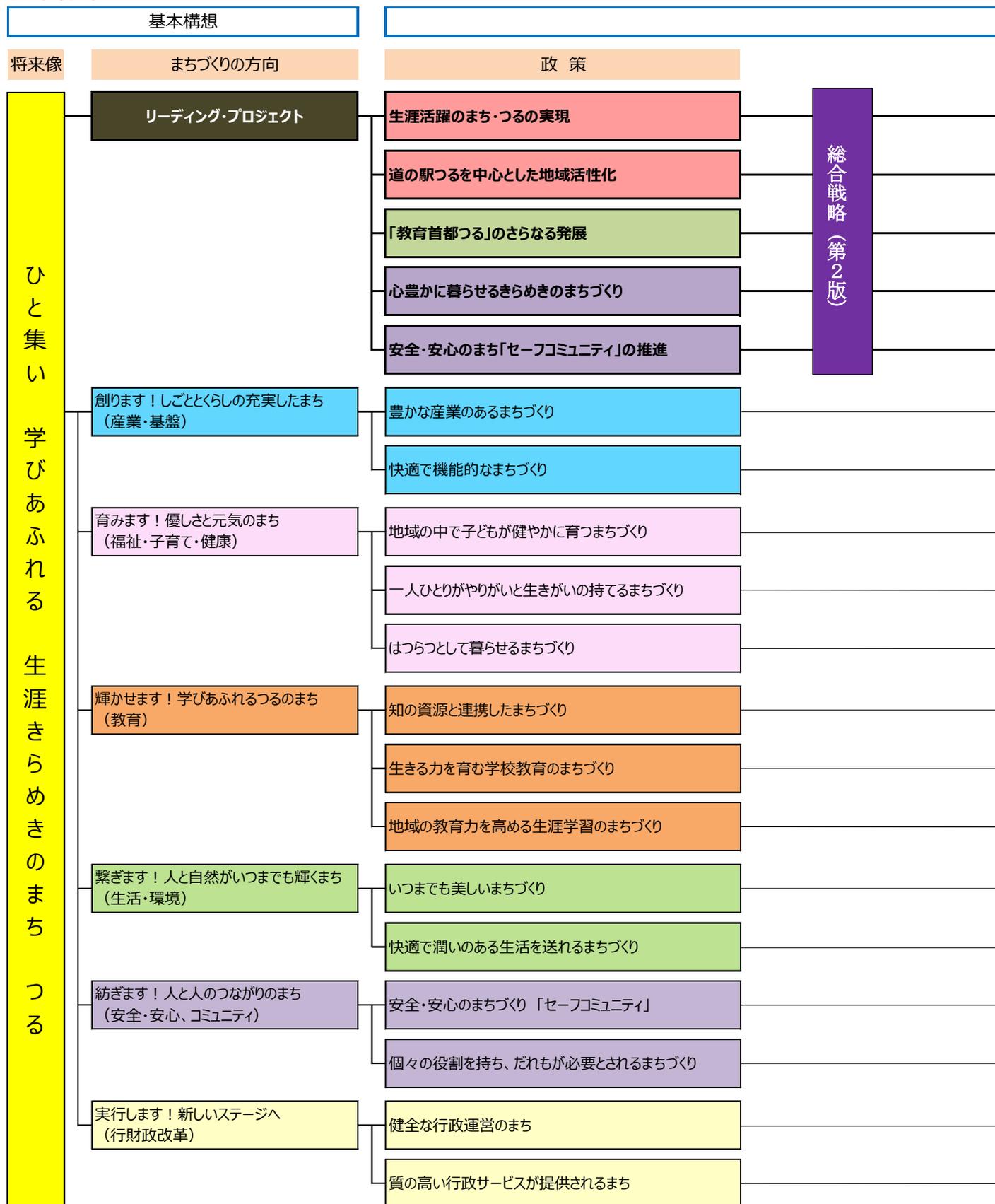
4. 計画期間

第6次都留市長期総合計画の全体計画期間は平成28(2016)年度から2026年度となっておりますが、基本計画は前期基本計画、中期基本計画、後期基本計画の3期間に分けられ、社会状況の変化に柔軟に対応できる構成としています。この中で、今回の計画は、「中期基本計画」に位置付けられ、平成31(2019)年度から2022年度の4年間を計画期間とします。この最終年次の2022年度には、後期基本計画策定に向けた見直しを行うこととなります。

■第6次都留市長期総合計画の計画期間と見直し年次



施策体系



総合戦略(第2版)

中期基本計画

具体的取組

施策

予算事業

リーディング・プロジェクトを
構成
※次ページから参照

★がついている施策

各課予算事業
(実施計画等)

各課予算事業
(実施計画等)

各課予算事業
(実施計画等)

各課予算事業
(実施計画等)

各課予算事業
(実施計画等)

★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生/★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興/★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化/★地場産業・商業の活性化と起業の支援/★移住促進と定住支援

各課予算事業
(実施計画等)

効率的・効果的なインフラの維持保全/計画的な土地利用

各課予算事業
(実施計画等)

★地域における子育て支援の推進/保育サービスの充実/★子ども・保護者に対する健康の確保・増進

各課予算事業
(実施計画等)

★安心を提供する地域福祉の啓発と充実/健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実/障がい者の自立と社会参加の支援

各課予算事業
(実施計画等)

★ライフステージに応じた健康づくり/地域医療体制の充実

各課予算事業
(実施計画等)

★大学と連携した教育施策の展開/★知の拠点である大学と地域の魅力づくり

各課予算事業
(実施計画等)

★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進/家庭・地域・学校の連携

各課予算事業
(実施計画等)

★いきがいを高める生涯学習の推進/明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興/★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信

各課予算事業
(実施計画等)

環境保全意識の醸成/ごみの適正な処理と減量化/里地・里山・里水の保全・活用

各課予算事業
(実施計画等)

★快適な住環境の整備/ふるさとへの誇りを醸成する景観づくり/地球温暖化対策と自然エネルギーの普及/★効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備

各課予算事業
(実施計画等)

★地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり/★地域防災力・減災力の強化/★災害対策及び消防救急の充実/★防犯対策の推進/★交通安全対策の推進

各課予算事業
(実施計画等)

★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化/市政情報提供手法の充実・多角化/市民提案・要望窓口の明確化/★個々の果たす役割の明確化と環境の整備/地域間連携の推進

各課予算事業
(実施計画等)

次代に向けた適切な行財政運営と改革/情報ネットワークの強化

各課予算事業
(実施計画等)

信頼できる職員の育成と充足したサービス提供/公有財産の有効活用と適正な配置

各課予算事業
(実施計画等)

都留市総合戦略（第2版）

1. 基本的な考え方

都留市人口ビジョン（第2版）でも示したとおり、本市の人口は平成12（2000）年をピークに減少傾向にあり、また、その構造は人口全体の中で年少人口が減少し、老年人口が増加する、いわゆる「少子高齢化」の傾向を示しています。今後、時間の経過とともに、人口減少と少子高齢化が一層進行し、将来的に本市は地方自治体としての機能を維持することさえ難しくなることも予想されます。

こうした中、国では地方のまちの魅力を向上させ、若者の希望に沿った生活ができる環境を整え、雇用を創出することにより、地方から活力を取り戻すための取組を戦略的に実施する「まち・ひと・しごと創生法」が平成26（2014）年11月に施行されました。

また、同年12月には我が国の将来人口展望を示した「長期ビジョン」と合わせ、これから地方創生を国が強力に推し進めるための施策を網羅した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が発表されました。

さらに、第1期の総合戦略の期間が終了し、令和元（2019）年12月には第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、切れ目なく策定されました。

本市においても、都留市人口ビジョン（第2版）に示す将来の人口展望を実現し、人口減少・少子高齢化と地域経済の縮小を克服するため、本市のまち・ひと・しごとを創生する実効性の高い手立てとして「都留市総合戦略（第2版）」を策定し、着実に取り組んでいくこととします。

2. 目指すべき人口の将来展望

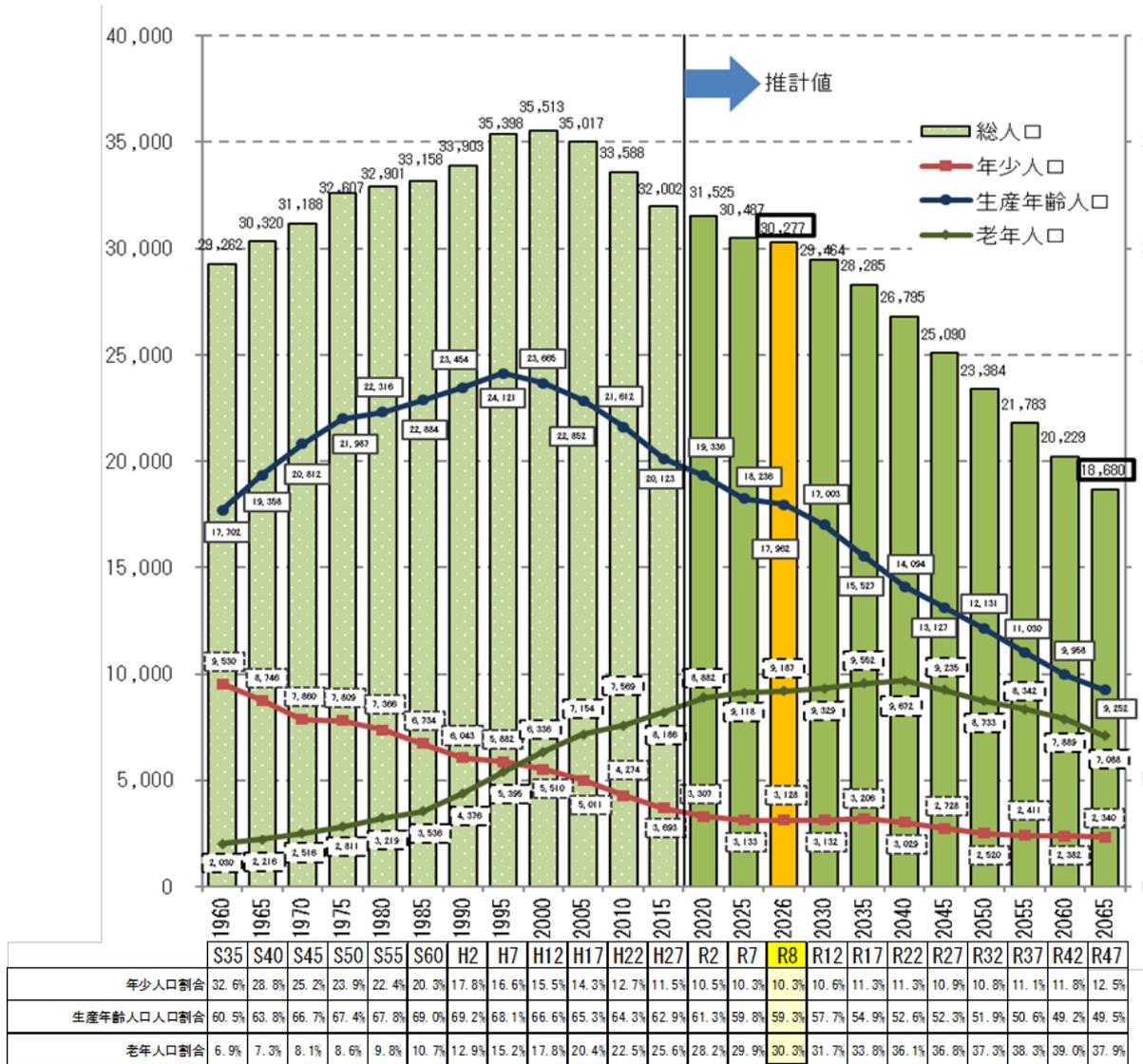
（1）現状推移の推計人口

本市の総人口は、平成12年（2000）年のピークを境とした減少に歯止めはかからず、令和2（2020）年から令和7（2025）年にかけて、30,000人を切る予想となっています。また、令和22（2040）年を過ぎた頃には20,000人を切り、その後も減少を続けていきます。第6次都留市長期総合計画の終了年次である令和8（2026）年においては、30,000人を切る予想となっています。

（2）都留市総合戦略（第2版）と第6次都留市長期総合計画の実施による人口の将来展望

一方、人口の維持を図るため、合計特殊出生率の向上、社会増減の均衡化を目指し、都留市総合戦略（第2版）と第6次都留市長期総合計画を実施した場合の人口の将来展望は次のとおりです。

- ・2030年に合計特殊出生率1.8達成、その後2040年に合計特殊出生率2.07達成
- ・転入転出者の均衡（人口1,000人あたり、+5人/年）



①人口対策の取組が十分効果を上げれば、第6次都留市長期総合計画の終了年次にあたる令和8（2026）年に30,000人程度の人口が確保される。

- 本市のまちの魅力を向上させ、若者の希望に沿った生活ができる環境を整え、雇用を創出していくための施策展開を強力に実施する。

②年少人口割合も減少の後着実に増加し、人口構成の健全なバランスを取り戻すことにより持続可能な都留市を実現する。

- 出生率の向上により、若い世代が継続的に地域に居住する。このことにより、地域経済も落ち込むことなく、市民活動も活発となり、地域は持続可能なコミュニティとして結束される。

3. 基本目標及び基本的方向、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）等

（1）基本目標

都留市総合戦略（第2版）では、その時勢に合致した取組を完遂するという考え方にに基づき、中期的に事業群をリードし、持続可能なまちづくりに対して大きな役割を担うであろう施策を分野別計画の中から抜き出し、「6つのまちづくりの方向」とは別に、「リーディング・プロジェクト」として政策を位置づけていることから、中期基本計画のリーディング・プロジェクトを基本目標として位置づけ、一体として取り組んで行くこととします。

（2）基本的方向

都留市総合戦略（第2版）の基本目標をリーディング・プロジェクトと位置付けていることから、「事業の目指す方向性」を「基本的方向」と位置付けることとします。

（3）具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

各基本目標の下に盛り込む具体的な施策については、リーディング・プロジェクトの「具体的施策」と位置付け、また、リーディング・プロジェクトの「成果指標」を「重要業績評価指標（KPI）」と位置付けることとします。

（4）計画期間

計画期間は、令和2（2020）年4月1日から令和5（2023）年3月31日までの3年間とします。

》 リーディング・プロジェクト

Leading Projects

リーディング・プロジェクト

1. リーディング・プロジェクトの位置づけ

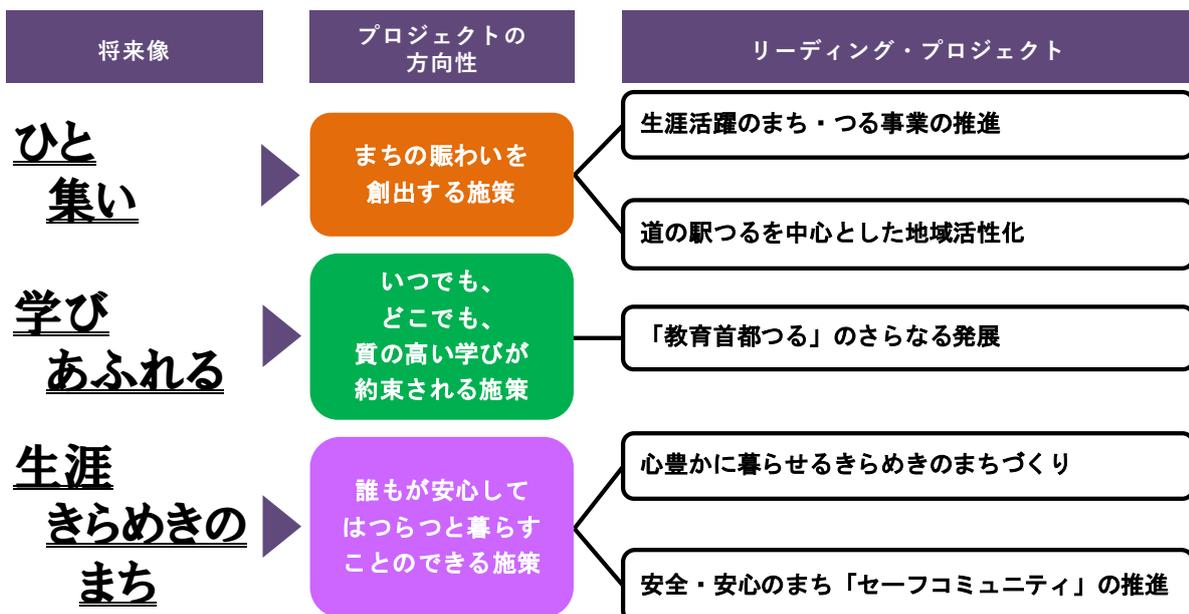
市では、進展する人口減少・超高齢社会という危機的な現実を直視しつつ、安定的な雇用や生活の永続性の担保、教育と文化的風土、自然豊かな環境などの地域資源の発掘と再評価、子どもから高齢者まで安心して暮らせる社会環境の整備など、持続的なまちを実現するため、平成 27 (2015) 年度～平成 31 (2019) 年度を計画期間とする「地方版総合戦略」及び平成 28 (2016) 年度～2026 年度を計画期間とする「第6次都留市長期総合計画」の策定を行いました。後者の第6次都留市長期総合計画では、2018 年度をもって前期基本計画が終了し、今回新たに中期基本計画をスタートさせることとなります。

こうした中、「第6次都留市長期総合計画」においては、各分野に位置づけた事業の中から、その時勢に合致した取り組みを完遂するという考え方にに基づき、中期的に事業群をリードし、持続可能なまちづくりに対して大きな役割を担うであろう施策を分野別計画（後述、p30～）の中から抜き出し、「6つのまちづくりの方向」とは別に、「リーディング・プロジェクト」として政策を位置づけ、中長期的な観点から取り組んでいくこととします。

2. リーディング・プロジェクトの方向性

リーディング・プロジェクトは、基本構想で示す将来像に合わせ、3つの方向性を持って取り組むこととします。

■将来像とリーディング・プロジェクトとの関係性



3. リーディング・プロジェクトの見方

リーディング・プロジェクトでは、プロジェクトごとにその「目指す方向性」、「成果指標」、「具体的施策」を記述しています。

■具体的施策の見方

施策1	施策の名称を記入しています。
基本計画	今回の基本計画における分野名__政策番号__施策番号を記入しています。
取り組み内容	施策の取り組み内容について記述しています。また、主要な取り組みについても記載し、具体的にどのようなことをするのかを示しています。

》 生涯活躍のまち・つる事業の推進

Project 1

まちの強みを生かし、今後産業の中核を担うこととなる生涯活躍のまち・つる事業を、前期基本計画に引き続きリーディング・プロジェクトに据え、積極的に取り組んでいきます。

1. 事業の目指す方向性

(1) 人口減少対策と地域経済の活性化

市内に立地する公立大学法人都留文科大学、健康科学大学看護学部及び山梨県立産業技術短期大学校の3つの高等教育機関並びに民間企業・団体等と強力的に連携し、元気な中高年齢者をはじめとした多世代にわたる方々を本市に呼び込み、生涯にわたって活躍できる環境づくりを展開することによって、まちの賑わいを取り戻し、人口減少を克服するとともに、中高年齢者をターゲットとした産業の振興や創業を図り、新規の雇用を創出します。

(2) 健康的でアクティブな生活の実現と継続的なケアの提供

移住者を含めた市民全体に対し、質の高い生涯学習プログラムや健康寿命を延伸させるための健康増進プログラムを整備・提供することにより、健康的でアクティブな生活を実現するとともに、人生の終期まで自立した生活が送れる居住環境と継続的なケアを提供します。また、一人ひとりが主人公となれるまちづくりを推進することで、本市における新たなライフストーリーを提案します。

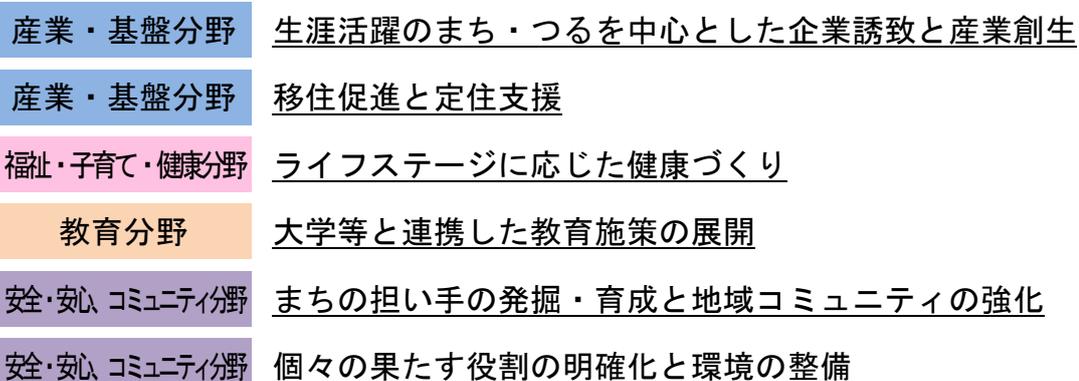
(3) まち全体への効果の波及

生涯活躍のまち・つる事業は、まちの姿そのものを変革させていく事業であり、様々なステークホルダーがそれぞれの役割を果たすことでその継続性が担保されます。また、2018年度には、この事業全体をマネジメントするための組織として、「生涯活躍のまち・つる推進協会」という任意団体が立ち上げられました。今後は、こうした組織との連携を強化し、共に生涯活躍のまちの効果波及をさせていく必要があります。

これら取り組みにより、産業分野をはじめとして、教育、福祉、健康、子育て、インフラ、安全・安心、そして地域コミュニティなど、すべての分野にわたって大きな効果がもたらされるよう、推進していきます。

2. 体系図

プロジェクト1：生涯活躍のまち・つる事業の推進



リーディング・プロジェクト

3. 成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
生涯活躍のまち・つる事業に伴う移住者数	累計	企画課調査	↑	人	15 (2017)	128	137
生涯活躍のまち・つる事業に伴う企業誘致数	累計	企画課調査	↑	者	1 (2017)	4	4
要支援1の認定を受けるまでの健康寿命	小計	長寿介護課調査	↑	歳	男 82.5 (2017)	83.3	83.5
			↑	歳	女 84.4 (2017)	84.8	84.9
65歳以上の市民の介護認定率	小計	長寿介護課調査	→	%	15.7 (2017)	16.5	16.7

4. 具体的施策

施策 1	生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
基本計画	産業分野__政策 1 __施策 1
取り組み内容	<p>「単独型居住プロジェクト」のサービス付き高齢者向け住宅の居住者をはじめ、市民の生きがい・やりがいを創出するための各種ソフトプログラムの充実と、田原地内の約 10,000 m²を活用する「複合型居住プロジェクト」の早期具体化を民間企業・市内大学等と連携する中で進めていきます。また、事業全体をマネジメントする組織である「生涯活躍のまち・つる推進協会」との連携も強化し、事業に付随する各種サービス関連事業者の誘致と新たな事業創出を行い、生涯にわたって活躍するための受け皿整備と雇用創出を行います。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複合型居住プロジェクト事業者の決定と協議 ・ 生涯活躍のまち・つる推進協会と連携した各種事業実施 ・ 地域おこし協力隊による地域資源の活用 等
施策 2	移住促進と定住支援
基本計画	産業分野__政策 1 __施策 5
取り組み内容	<p>地方での生活を望む様々な世代へ、本市の自然環境や生活に関する情報を積極的に発信し、移住促進を行うとともに、空き家などを活用し、受け入れ体制を整備・強化します。また、定住するために必要な支援策を充実させ、住むことに価値のあるまちにしていきます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都内移住相談センターの活用 ・ 定住のための各種支援事業実施 等
施策 3	ライフステージに応じた健康づくり
基本計画	福祉・子育て・健康分野__政策 3 __施策 1
取り組み内容	<p>健康診査等における疾病の早期発見、早期治療はもちろんのこと、疾病予防のための健康教室や保健指導等のほか、それぞれのライフステージに合わせた各種保健サービスや体力づくり事業を充実させ、健康づくりを推進します。また、こころの健康づくりについても関係機関などとの役割分担を通し、相談支援を強化します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康についての相談事業 ・ 各種健康診査等の実施 ・ 健康づくり教室等の開催 等

施策4	大学等と連携した教育施策の展開
基本計画	教育分野__政策1__施策2
取り組み内容	<p>様々な知見を有する大学等と連携し、学校教育を含めた、様々な学習場面に応じた質の高い教育プログラムの提供体制を整備し、教育連携施策を展開することによって、学びのまちを実現します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・学生アシスタントティーチャー 等</p>
施策5	まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
基本計画	安全・安心・コミュニティ分野__政策2__施策1
取り組み内容	<p>地域の基礎的共同体である「自治会」組織への支援や、市民や事業者、市民活動団体、教育機関などや行政が互いに補い合い、連携・協力しながら、課題解決やまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」の推進などにより、すべての人が生活する環境の中で、相互に助け合える地域コミュニティを確立します。また、コミュニティリーダーとなる人材を育成し、より強固なコミュニティづくりを促進します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・自治会組織、まちづくり組織への支援 ・各地域協働のまちづくりの推進 ・コミュニティ活動拠点の整備・充実 等</p>
施策6	個々の果たす役割の明確化と環境の整備
基本計画	安全・安心・コミュニティ分野__政策2__施策4
取り組み内容	<p>都留市自治基本条例に則り、一人ひとりのまちづくりを担う役割を明確化するとともに、誰もが人生において自身の思い描くような人生を実現できるような環境整備と支援を実施し、それぞれが自分らしく生きられるためのまちづくりを進めます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・活動環境の整備支援 ・結婚相談の充実 ・男女共同参画の推進 等</p>

》道の駅つるを中心とした地域活性化

Project 2

恵まれた自然資源を生かし、道の駅つるを核に市内農林漁業を振興するとともに、交流・観光拠点と位置付け、ひとが集い、市内を周遊することによる地域活性化を図ります。

1. 事業の目指す方向性

(1) 第1次産業の振興による「しごと」の創生

平成28(2016)年度の道の駅つるのオープンによって就農者の一定の所得向上が見られ、地域産品の確実な販路が確保されました。今後も定年帰農者をはじめ、新たな就農者や移住希望者など、第1次産業の担い手の受け皿を整備し、集落機能を維持する仕組みづくりや、農作業等の受託組織の立ち上げなどを進め、第一次産業によるしごとの創生を促進します。

また、地域農業をけん引できるような大規模生産者や農業法人等を育成、支援し、新規就農者が法人等で働きながら生産技術を習得し、将来的に自立できる体制を整えます。

(2) 「ひと」が集う魅力ある「まち」の創生

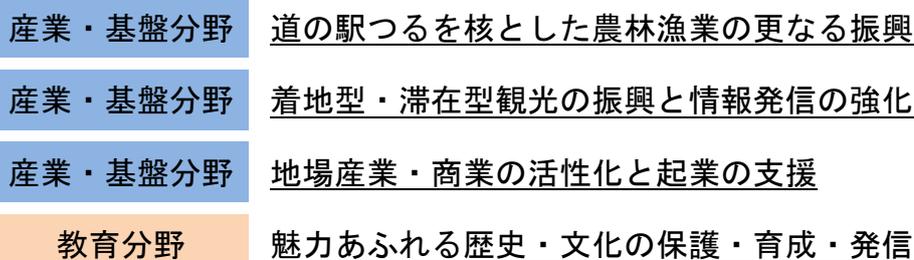
本市の持つ由緒正しい歴史文化や、湧水をはじめとした豊かな自然資源など、地域資源をさらに強みとして磨き上げ、積極的な情報発信やイベント開催等により地域ブランドを向上させるとともに、その強みを点から線へ、線から面へ、そして時間を越えて結びつけることにより、市内外から多くの「ひと」が集い、また、この地に住む「ひと」が誇りに思う「まち」にします。

(3) 地場産業（しごと）の強化と商業活性化を通じた賑わいの「まち」の創生

地場産業の異業種交流を含めた連携体制を整えるなどして、地域に根付いたものづくり企業の体力強化を図るとともに、地域に根付き、地域に貢献し、また、地域の職業人を育成する大学などとの連携により、この地に残る若者を育成します。また、様々な主体と連携する中で地元商店の活性化を促す取り組みを実施し、地域経済の底上げを図り、「まち」の賑わいを創出します。

2. 体系図

プロジェクト2：道の駅つるを中心とした地域活性化



3. 成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
市内観光客入れ込み数	小計	産業課調査	↑	人	1,352,741 (2017)	1,390,000	1,400,000
市内事業所の従業者数	小計	経済センサス (企画課)	→	人	14,441 (2017)	14,400	14,400

4. 具体的施策

施策1	道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
基本計画	産業分野_政策1_施策2
取り組み内容	<p>道の駅つるを拠点として展開される各種イベント等の開催支援と、農林漁業を中心とした事業展開支援などを行い、付加価値の高い農林産物の産出と、市民所得の向上を図り、第一次産業を中心とした特色あふれる産業を振興します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅つる運営に係る指定管理者への協議・支援 ・地産地消・6次産業化の支援 ・農産品のブランド化支援 ・県営中山間地域総合整備事業への協力と推進 等

施策2	着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
基本計画	産業分野__政策1__施策3
取り組み内容	<p>湧水をはじめとした豊かな自然資源、由緒ある歴史文化、また、道の駅つるなどの観光施設と、民間レベルで実施される観光に資する取り組みを連携させ、一層磨き上げることで、本市独自の着地型・滞在型観光の創出と振興を強化します。</p> <p>また、取り組み内容についての情報を積極的に広く発信することで、インバウンド誘致をはじめとした集客力の向上を図り、訪れるごとに喜びの増すまちにします。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・「つる観光」の確立 ・地域観光資源の積極的な活用 ・地域連携による広域的な観光事業への取り組み ・観光情報発信の強化 等</p>

施策3	地場産業・商業の活性化と起業の支援
基本計画	産業分野__政策1__施策4
取り組み内容	<p>地域経済の活力を強化するため、商工会との連携や、ヒト・モノ・カネを呼び込むイベントの企画・開催などを通じて、地場産業や地元商店街の地力向上と活性化を支援します。また、新たに起業を考える方の支援も併せて実施し、賑わいと活力あるまちにします。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・商工業振興のための各種補助・融資事業 ・産業活性化に向けた各種イベントの実施 ・国、金融業者と連携した起業支援策の実施 等</p>

施策4	魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
基本計画	教育分野__政策3__施策3
取り組み内容	<p>本市の由緒ある歴史文化を積極的に保護・活用し、大名行列やお茶壺道中などをはじめとする歴史的行事、文化財、寺社などの特色ある文化資源などを活用し、情報発信するとともに、芸術文化の振興を合わせて行い、新たな文化が創出される歴史文化のまちづくりを推進します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・芸術文化事業の推進 ・歴史文化を活用した講座等の充実 ・博物館・資料館等の管理運営 等</p>

》「教育首都つる」のさらなる発展

Project 3

市内に立地する各教育機関との連携を図り、誰もがいつでも、どこでも学べる環境の整備を行い、教育を軸としたまちづくりを推し進めます。

1. 事業の目指す方向性

(1) 学びあふれる「まち」の創生

生涯を通して学び、充実した生活を送ることのできるように、本市の生涯学習拠点である博物館、図書館、まちづくり交流センターなどはもちろん、高等教育機関、県の教育関係機関、事業者、市民団体等、本市に拠点を置く様々な主体との連携を強化し、誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる学びあふれる「まち」にし、合わせて、この地に住むことに誇りの持てるまちとします。

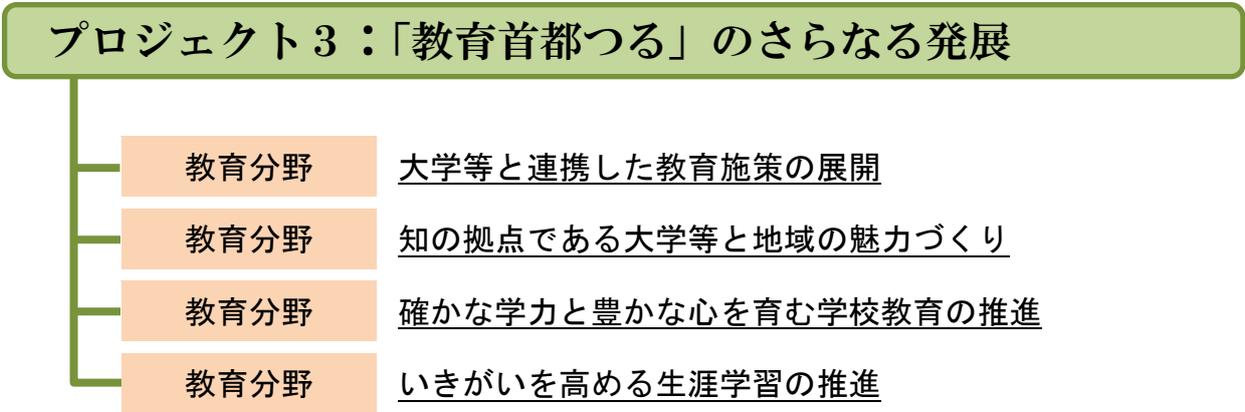
(2) 大学等を活用した学びと「ひと」の創生

地域の「知の拠点」として立地する都留文科大学、健康科学大学看護学部及び実践技術者の育成機関である県立産業技術短期大学校の3校と連携し、それぞれの特色を持った知的資源と人的資源を活用した学習プログラムを提供し、本市の持つ教育的な強みを発揮し、質の高い学習内容を求める市民のニーズに応えます。

(3) 学ばせたい・学びたい「まち」の創生

これからの未来をひらく心豊かな人材育成のため、学力と共に人間力を培う施策を展開します。このため、地域と大学をはじめとした高等教育機関、高校、義務教育校が有機的に連携し、本市ならではの多様な学習機会を提供するとともに、子どもたちの夢や希望をかなえるため、自己実現を支援する環境づくりを進めます。また、幼稚園・保育園から大学院まで立地する本市を、子育て世代が子どもを学ばせたい「まち」にします。

2. 体系図



リーディング・プロジェクト

3. 成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
学生アシスタントティーチャー配置人数	小計	学校教育課調査	↑	人	170 (2017)	400	400
国語への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	61.5 (2018)	68.5	70.5
算数・数学への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	71.9 (2018)	72.2	72.3

4. 具体的施策

施策1	大学等と連携した教育施策の展開
基本計画	教育分野_政策1_施策1
取り組み内容	<p>様々な知見を有する大学等と連携し、学校教育を含めた、様々な学習場面に応じた質の高い教育プログラムの提供体制を整備し、教育連携施策を展開することによって、学びのまちを実現します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・学生アシスタントティーチャー 等</p>

施策2	知の拠点である大学等と地域の魅力づくり
基本計画	教育分野__政策1__施策2
取り組み内容	<p>市に立地する大学等の魅力を向上させるための支援を積極的に行うとともに、大学等と地域との連携を促進し、双方の保有する地域資源、知的資源及び人的資源等を最大限に活用する中で、本市・大学等、両者の発展と地域振興を進め、魅力を向上させます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・大学設立者としての運営支援 ・キャンパス整備への支援 ・大学等・地域共同開催事業の推進 等</p>
施策3	確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
基本計画	教育分野__政策2__施策1
取り組み内容	<p>「生きる力」を育むための教育内容の充実を行うとともに、本市ならではの特色ある学校教育を実現します。また、一人ひとりの教育ニーズや生活の状況に応じた学習環境を整備・充実させ、グローバル社会や複雑化する情報化社会へ対応できる能力を養います。</p> <p>そして、子どもたちが学ぶ場所についてもより安全で快適な学習環境を整備し、次代を担う子どもたちの育成に努めます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・学習環境の整備・充実 ・学力向上に向けた施策の展開 ・特色ある学校教育の支援・充実 等</p>
施策4	いきがいを高める生涯学習の推進
基本計画	教育分野__政策3__施策1
取り組み内容	<p>市民の生涯学習ニーズを的確に把握し、生涯学習施設と提供プログラムを充実させるとともに、学ぶだけではなく、講師となり、得た知識を還元していく仕組みについても整備していきます。また、市民を主体とした生涯学習組織の立ち上げも視野に入れながら、既存ストックの活用なども含め、生涯学習を振興します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・学ぶための機会の充実 ・生涯学習施設の充実 ・提供プログラムの充実 等</p>

》心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

Project 4

本市に暮らすすべての方々が、いきいきと心豊かに暮らせるように、そのライフステージに合わせた様々な支援策を講じ、きらめきのまちを実現させます。

1. 事業の目指す方向性

(1) 幸せな家庭を築ける「まち」の創生

本市に住み、結婚を望む方の希望に沿うための支援を積極的に行うとともに、幸せな家庭を築き、笑顔で暮らすことのできる環境づくりに努めます。また、人口減少を克服するには自然増、いわゆる出生率の向上が不可欠です。本市においては待望の産科分娩再開が決定し、子どもを産み育てるための環境が整いましたが、その一方で、ここ数年の合計特殊出生率は全国平均や山梨県平均を大きく下回る結果となっており、早急な原因の解明と、出生率向上に向けた取り組みの実施が喫緊の課題となっています。

本市では、これまでも子育て費用の軽減をはじめとした様々な子育て支援策を講じ、一定の評価を得てきましたが、今後これらの施策を一層充実させ、出産から子育てにわたる切れ目ない支援を行うとともに、地域や社会全体で子育てを支援し、子育てを楽しめる環境を整備します。

(2) 健康できらめく「ひと」の創生

平成30(2018)年度にオープンした「都留市健康ジム」は、市民評価も高く、多くの方の健康促進のための基盤施設として機能しています。今後はこの施設を多いに有効活用し、年齢とともに衰える傾向にある身体的機能を維持し、改善するための一助としていきます。また、一人ひとりが健康できらめくような生活の送れる環境を整備し、健康寿命を延ばすとともに、年齢に伴って変化する生活段階の要求に対し、安心して暮らせるまちを目指します。

(3) いつまでも安心して暮らせる「まち」の創生

子どもから高齢者までのすべての世代が助け合いながら共に暮らせるコミュニティを創出するとともに、高齢になっても安心して暮らせる居住環境を提供します。また、生涯活躍のまち・つる事業において展開される各種事業・イベントなどにより、生きがいを持って、いつまでも心豊かに暮らせるまちを形作っていきます。

2. 体系図

プロジェクト4：心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

- 福祉・子育て・健康分野 地域における子育て支援の推進
- 福祉・子育て・健康分野 子ども・保護者に対する健康の確保・増進
- 福祉・子育て・健康分野 ライフステージに応じた健康づくり
- 生活・環境分野 快適な住環境の整備
- 生活・環境分野 効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
- 安全・安心、コミュニティ分野 個々の果たす役割の明確化と環境の整備

リーディング・プロジェクト

3. 成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
合計特殊出生率	小計	人口動態統計、住民基本台帳人口(10/1)より算出	↑	—	1.24 (2017)	1.47	1.51
都留市に住み続けたいと思う人の割合	小計	「ずっと住みたい」「住み続けても良いかなと思っている」の合計	↑	%	71.5 (2017)	75.3	—

4. 具体的施策

施策1	地域における子育て支援の推進
基本計画	福祉・子育て・健康分野__政策1__施策1
取り組み内容	<p>本市の長年の課題であった、産科分娩の再開により、子どもを生み育てることのできる環境整備が一步前進しました。これに伴い、子どもたちの健やかな成長と、それぞれの子育て世帯の生活が充実したものにできるよう、人と人がつながり、地域で子どもを育てる環境を整えるとともに、多種多様な子育て支援サービスを展開します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実 ・ 子育てサークルやネットワーク構築のための支援 ・ 子育てにかかる手当 ・ 要保護児童への支援等 ・ 放課後児童クラブ、子ども教室などの充実 ・ 児童虐待防止支援としての要保護児童対策地域協議会調整機関の充実、強化 等
施策2	子ども・保護者に対する健康の確保・増進
基本計画	福祉・子育て・健康分野__政策1__施策3
取り組み内容	<p>母性健康管理を充実させるとともに、子どもや保護者に対する子育て支援情報の提供や各種体験・相談事業等を行うことにより、思春期から妊娠、そして出産、子育てまで、切れ目のない支援体制を構築します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種等や健診等の健康管理支援 ・ 子育てのための相談所・コーディネーターの設置 ・ 不妊治療への支援 ・ 産後のケア 等
施策3	ライフステージに応じた健康づくり
基本計画	福祉・子育て・健康分野__政策3__施策1
取り組み内容	<p>健康診査等における疾病の早期発見、早期治療はもちろんのこと、疾病予防のための健康教室や保健指導等のほか、それぞれのライフステージに合わせた各種保健サービスや体力づくり事業を充実させ、健康づくりを推進します。また、こころの健康づくりについても関係機関などとの役割分担を通し、相談支援を強化します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康についての相談事業 ・ 各種健康診査等の実施 ・ 健康づくり教室等の開催 等

施策4	快適な住環境の整備
基本計画	生活・環境分野__政策2__施策1
取り組み内容	<p>生活に欠かすことのできない上下水道の整備・普及や、下水道の代替である合併処理浄化槽の整備支援など、市民の生活環境と衛生度の向上に努めます。また、近年問題化が顕著である空き家対策にも注力し、快適な住環境を実現します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・ 上水道の維持・更新 ・ 下水道等の生活排水処理機能の充実 ・ 空き家対策 等</p>
施策5	効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
基本計画	生活・環境分野__政策2__施策4
取り組み内容	<p>「日常生活の足」の確保に苦慮している方々が、利便性の高い暮らしが送れるよう、市民・事業者・行政の協働により、地域に適した公共交通システムを導入します。また、規制の枠に捉われない新たな仕組みや仕掛けを検討し、持続可能な公共交通を目指します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・ 地域の実情に即した公共交通体系の構築 ・ 公共交通利用率向上の取り組み ・ 地域主体の取り組みに対する支援 等</p>
施策6	個々の果たす役割の明確化と環境の整備
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策2__施策4
取り組み内容	<p>都留市自治基本条例に則り、一人ひとりのまちづくりを担う役割を明確化するとともに、誰もが人生において自身の思い描くような人生を実現できるような環境整備と支援を実施し、それぞれが自分らしく生きられるためのまちづくりを進めます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・ 活動環境の整備支援 ・ 結婚相談の充実 ・ 男女共同参画の推進 等</p>

》安全・安心のまち「セーフコミュニティ」の推進

Project 5

本市に暮らすすべての方々が、安全・安心を享受し、快適に暮らすことのできるよう、セーフコミュニティの実現に向け、取り組んでいきます。

1. 事業の目指す方向性

(1) 安全で安心な「まち」を実現するセーフコミュニティの認証と推進

事故やけがは偶然起こるのではなく、その原因を分析することで未然に防ぐことができるという理念に基づき、市民をはじめ、地域で活動する各主体が力を合わせて安心・安全なまちを実現する「セーフコミュニティ」の取り組みを推進し、都留市としての国際認証の取得と、安心して暮らし続けられるまちを実現するための継続的な取り組みを推進していきます。

(2) 地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせる「まち」の創生

「自助」「共助」をまちづくりの根幹に据え、地域協働のまちづくりを推進してきた本市において、これまでに取り組んできた「交通安全対策」や「防災活動」、「高齢者のための健康対策」など、安心して暮らし続けることのできるまちとしての取り組みをより効果的なものとするために、地域・行政・警察・学校・家庭など、様々な主体がより強固に協働・連携することにより、いつまでも健康で幸せに暮らせるまちを創り上げます。

(3) 住民相互が作り上げる安全で快適な「まち」

安全で、住みやすい快適なまちを実現するためには、コミュニティ内部での互惠関係を深め、社会的に不利な状況（立場）にある方々を含め、地域に暮らすすべての方が、できる限り地域の中で自立した生活を送ることのできるように助け合うことや、相互に協力しあって課題解決を図っていく力を培っていく必要があります。このため、地域福祉の考え方を基礎として地域に根付かせ、地域が安全で快適なまちとして自律できるよう、環境の整備を進めていきます。

2. 体系図

プロジェクト5：安全・安心のまち「セーフコミュニティ」の推進

- 福祉・子育て・健康分野 安心を提供する地域福祉の啓発と充実
- 安全・安心 コミュニティ分野 地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
- 安全・安心 コミュニティ分野 地域防災力・減災力の強化
- 安全・安心 コミュニティ分野 災害対策及び消防救急の充実
- 安全・安心 コミュニティ分野 防犯対策の推進
- 安全・安心 コミュニティ分野 交通安全対策の推進

リーディング・プロジェクト

3. 成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
セーフコミュニティの認知度	小計	安全・安心市民意識調査(地域環境課)	↑	%	15.4 (2017)	—	40.0
交通事故発生状況	小計	山梨県警HP 山梨県の交通事故統計	↓	件	32.6 (2017)	27.0	25.0
以前に比べ、安全安心の度合いが増したと感じる市民割合	小計	市民意識調査	↑	%	— (2017)	30.0	—

4. 具体的施策

施策1	安心を提供する地域福祉の啓発と充実
基本計画	福祉・子育て・健康分野_政策2_施策1
取り組み内容	<p>高齢者や障がいのある方々をはじめとした社会的に不利な状況(立場)にある方々を含め、地域に暮らすすべての方が、できる限り地域の中で自立し、安心して暮らすことのできるよう、各種支援を行うとともに、幸せに生活できるよう相互に助け合う「地域福祉」の考え方を啓発し、地域コミュニティの結束を強めます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ強化への支援 ・暮らしに役立つ各種相談事業 ・社会的弱者への各種支援 ・民生委員活動の支援 等

施策2	地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策1__施策1
取り組み内容	<p>地域で活動する団体や市民、警察、医療機関、行政などが協働して、安全・安心なまちの実現に向けて取り組む「セーフコミュニティ」の認証と認証後の活動を実施し、地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまちを実現します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証に向けたセーフコミュニティ対策委員会の運営 ・ 各地域活動団体との連携 ・ 取り組みの市民への周知 等
施策3	地域防災力・減災力の強化
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策1__施策2
取り組み内容	<p>地域の防災力や減災力を高めるため、市民一人ひとりの防災知識向上を図るとともに、いざというときの「共助」が機能するよう、各地域の防災組織を支援し、地域間の連携などを進め、地域ごとの防災機能を強化します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災資機材の充実 ・ 防災士資格取得の支援 ・ 消防団支援 等
施策4	災害対策及び消防救急の充実
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策1__施策3
取り組み内容	<p>想定される災害はもちろん、近年増加傾向にある都市型複合災害などに備えた自然災害防止事業の推進や、「公助」としての役割を果たすための体制を整備するとともに、いざという時の消防救急体制を充実させます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災設備の充実 ・ 救急救命士の養成 ・ 防災体制の強化 ・ 救急体制の充実 等

施策5	防犯対策の推進
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策1__施策4
取り組み内容	<p>犯罪や事故のない、誰もが安心して暮らせるまちを実現するため、防犯広報活動を積極的に展開し、防犯意識の醸成に努めるとともに、地域住民や各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携により、地域の安全対策を推進します。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・防犯意識の醸成 ・防犯灯整備など、防犯環境の整備 ・消費者安全対策の推進 等</p>
施策6	交通安全対策の推進
基本計画	安全・安心、コミュニティ分野__政策1__施策5
取り組み内容	<p>児童や生徒の通学路安全対策や、高齢者や障がい者の交通の安全を確保するため、市民、事業所、行政などが協力し、交通安全対策を進めます。</p> <hr/> <p>◆主要な取り組み ・交通安全対策の推進 等</p>

分野別計画

Ⅰ. 産業・基盤分野「創ります！しごととくらしの充実したまち」

産業は、このまちに暮らすすべての人々の生活を支えるものであり、まちの賑わいを生み出す重要な役割を担っています。このため、新たな産業や雇用を創出するとともに、地場産業の振興を図り、活気あふれるまちを目指します。また、自然や歴史的・文化的資源など、地域の特色を磨き上げ、このまちの魅力として内外に発信し、観光産業の振興に繋がります。さらに、暮らしと産業の基盤であるインフラについても計画的・効果的に整備し、都市機能を充実させます。

体系図

まちづくりの方向：創ります！しごととくらしの充実したまち

政策1：豊かな産業のあるまちづくり

施策1：生涯活躍のまち・つる事業を中心とした企業誘致と産業創生

施策2：道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興

施策3：着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化

施策4：地場産業・商業の活性化と起業の支援

施策5：移住促進と定住支援

政策2：快適で機能的なまちづくり

施策1：効率・効果的なインフラの維持・保全と機能保持

施策2：計画的な土地利用

政策1 豊かな産業のあるまちづくり

現状と課題

前期基本計画の3年間において、生涯活躍のまち・つる事業の単独型居住プロジェクトの実現や、「道の駅つる」のオープンなどを経て、少しずつではありますが、市内に新しい産業の種が生まれつつあります。しかしながら、本市の基幹産業である製造業をはじめとした第2次産業では、国勢調査によると平成22(2010)年から27(2015)年にかけて就業者数の減少が見られることに加え、その他各種統計数値から見ても好調とはいきれない状況にあります。

こうした基幹産業の衰退は、人口減少の一要因となり、また、その影響による経済規模の縮小が起き、そして更なる人口減が引き起こされるといふ、負のスパイラルに陥ることに繋がりがねません。

今後、少子高齢化の進行に伴い、本市の産業構造も大きく変化することが想定されますが、人口減少対策としても、地域内に様々な産業の創出や就業の受け皿を作ることが求められており、現状をいかに維持・向上、更に発展させていくかが大きな課題となっています。

目指す姿

- 新たな産業が創出され、魅力ある地場産業や商店により地域経済の活力が高まっている。
- 都留市の魅力を楽しみに訪れる人たちによって、まちは賑わいを見せている。

施策の方向

施策1 生涯活躍のまち・つる事業を中心とした企業誘致と産業創生

「単独型居住プロジェクト」のサービス付き高齢者向け住宅の居住者確保をはじめ、市民の生きがい・やりがいを創出するための各種ソフトプログラムの充実と、田原地内の約10,000㎡を活用する「複合型居住プロジェクト」の早期具体化を民間企業・市内大学等と連携する中で進めていきます。また、事業全体をマネジメントする組織である「生涯活躍のまち・つる推進協会」との連携も強化し、事業に付随する各種サービス関連事業者の誘致と新たな事業創出を行い、生涯にわたって活躍するための受け皿整備と雇用創出を行います。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 複合型居住プロジェクト事業者の決定と協議
 - ・ 生涯活躍のまち・つる推進協会と連携した各種事業実施
 - ・ 地域おこし協力隊による地域資源の活用 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.9 (2018)	20.7	—
企業誘致件数（生涯活躍のまち・つる事業以外も含む）	累計	契約行為等成立実績	↑	件	2 (2018)	5	6
都留市企業立地支援条例適用件数	累計	摘要年度実績	↑	件	0 (2017)	3	3

施策2 道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興

道の駅つるを拠点として展開される各種イベント等の開催支援と、農林漁業を中心とした事業展開支援などを行い、付加価値の高い農林産物の産出と、市民所得の向上を図り、第一次産業を中心とした特色あふれる産業の振興を行います。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 道の駅つる運営に係る指定管理者への協議・支援
 - ・ 地産地消・6次産業化の支援
 - ・ 農産品のブランド化支援
 - ・ 県営中山間地域総合整備事業への協力と推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	19.0 (2018)	21.7	—
道の駅つる生産者組合員登録総件数	累計	年度末実績	↑	件	173 (2017)	213	223
道の駅つる売上高（税込）	小計	年度末実績	↑	億円	2.6 (2017)	2.92	3.01

施策3 着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化

湧水をはじめとした豊かな自然資源、由緒ある歴史文化、また、道の駅つるなどの観光施設と、民間レベルで実施される観光に関連する取り組みを連携させ、一層磨き上げることで、本市独自の着地型・滞在型観光の創出と振興を強化します。

また、取り組み内容についての情報を積極的に広く発信することで、インバウンド誘致をはじめとした集客力の向上を図り、訪れるごとに喜びの増すまちにします。

- ◆主要な取り組み
- ・「つる観光」の確立
 - ・地域連携による広域的な観光事業への取り組み
 - ・地域観光資源の積極的な活用
 - ・観光情報発信の強化 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.0 (2018)	18.9	—
観光客（観光関連施設）入れ込み数	小計	産業課調査	↑	人	910,209 (2017)	970,000	1,000,000
市内宿泊者数	小計	産業課調査	↑	人	43,265 (2017)	48,314	50,000
市内民泊施設数	累計	産業課・企画課調査	↑	軒	6 (2018)	7	8

施策4 地場産業・商業の活性化と起業の支援

地域経済の活力を強化するため、商工会との連携や、ヒト・モノ・カネを呼び込むイベントの企画・開催などを通じて、地場産業や地元商店街の地力向上と活性化を支援します。また、新たに起業を考える方の支援も併せて実施し、賑わいと活力あるまちにしていきます。

- ◆主要な取り組み
- ・ 商工業振興のための各種補助・融資事業
 - ・ 産業活性化に向けた各種イベントの実施
 - ・ 国、金融業者と連携した起業支援策の実施 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	9.7 (2018)	12.9	—
小売業・卸売業の年間商品販売額	小計	調査実施年度実績	↑	百万円	44,903 (2016)	—	53,000
新規創業者支援補助金交付者数	累計	産業課調査	↑	件	2 (2018)	11	14

施策 5 | **移住促進と定住支援**

地方での生活を望む様々な世代へ、本市の自然環境や生活に関する情報を積極的に発信し、移住促進を行うとともに、空き家などを活用し、受け入れ体制を整備・強化します。また、定住するために必要な支援策を充実させ、住むことに価値のあるまちにしていきます。

- ◆主要な取り組み
- ・ 都内移住相談センターの活用
 - ・ 定住のための各種支援事業実施 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.1 (2018)	17.1	—
空家バンク成約数	小計	年度末実績	→	件	12 (2018)	12	12
年間社会増減	小計	住民基本台帳での年間（1～12月）転入者 一年間転出者	→	人	△63 (2018)	158	157

政策2 快適で機能的なまちづくり

現状と課題

公共施設や橋梁、道路などの都市基盤インフラにおいては、年数の経過とともにその更新あるいは維持・管理にかかる費用の増大が大きな課題となっています。

公共施設や都市基盤インフラは、産業を支えるとともに、生活の基盤ともなる重要な役割を担っているため、現在担保されている利便性を失うことのないよう、再編や防災など、新たな観点からその機能面も含めて今後の維持・活用手法を検討していく必要があります。

また、平地の少ない本市としては、これら都市基盤インフラと、土地利用の関係も考慮しながら、効率的で機能的なまちを目指す必要があります。

目指す姿

■機能的で利便性の高いまちとなっている。

施策の方向

施策1 効率的・効果的なインフラの維持保全と機能保持

生活に欠かせない道路橋梁の整備、改修、維持管理を通じ、産業と暮らしを支える都市基盤を整備するとともに、既存の公共施設等に関しては、公共施設等総合管理計画に基づき、ストック活用や統廃合などの方向性を勘案し、最適で効率的な活用を図ります。また、今後訪れることが予想される大規模災害等に備えた機能など、時代のニーズに合わせた機能についても整備していきます。

- ◆主要な取り組み
 - ・計画的な道路の維持・改修等の推進
 - ・都市基盤施設の計画的な維持・補修等の推進
 - ・長寿命化計画の推進
 - ・公共施設等総合管理計画の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.2 (2018)	20.0	—
市道舗装率	小計	建設課調査	↑	%	85.27 (2017)	86.39	86.67
市道及び橋梁の健全性	小計	建設課調査	↑	%	73.68 (2017)	74.08	75.08

施策 2 | **計画的な土地利用**

市民の憩いの場である公園の整備など、快適な都市基盤を整備するとともに、農用地・緑地など、快適な生活環境を実現するため、自然と都市機能のバランスのとれた良好なまちを計画的にデザイン・形成し、面的な整備を強化します。

- ◆主要な取り組み
 - ・都市計画マスタープランに沿ったまちづくりの推進
 - ・公園の整備 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	10.2 (2018)	13.3	—
市民1人当たり都市公園面積	小計	建設課調査	↑	m ²	6.9 (2017)	7.0	7.0
開発行為指導件数	小計	建設課調査	↑	件	12 (2017)	15	15

Ⅱ. 福祉・子育て・健康分野「育みます！優しさと元気のまち」

私たちのまちに生活するすべての人がいきいきと暮らすことのできるまちを目指し、高齢者をはじめとする社会的に不利な状況（立場）にある方々への支援策を充実させるとともに、次代を担う子どもたちを生み育てる環境を整備します。また、市民一人ひとりが健康寿命を延ばし、可能な限り住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができるまちにします。

体系図

まちづくりの方向：育みます！優しさと元気のまち

政策1：地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり

施策1：地域における子育て支援の推進

施策2：保育サービスの充実

施策3：子ども・保護者に対する健康の確保・増進

政策2：一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり

施策1：安心を提供する地域福祉の啓発と充実

施策2：健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実

施策3：障がい者の自立と社会参加の支援

政策3：はつらつとして暮らせるまちづくり

施策1：ライフステージに応じた健康づくり

施策2：地域医療体制の充実

政策1 地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり

現状と課題

少子化の進展により、本市の出生数も年々減少しており、平成29(2017)年の本市の合計特殊出生率は、1.24と、ここ十数年で最も低い数値を記録し、全国平均、県平均を大きく下回りました。また、これに加え、本市の世帯人員の数は年々減少しており、核家族化や単身世帯の増加がうかがえます。こうした中、子育てに対し不安を抱える保護者や、コミュニティからの親子の孤立などが課題になっています。このため、「地域で子どもを育てる」環境を整え、様々な世代の方々が積極的に子育てに関わることで、若い世代が、子どもを生み育てることに喜びを感じられる地域社会を築くことが求められています。

一方、本市の長年の課題であった市立病院の産科分娩の再開に目途がつき、平成31(2019)年2月から再び分娩を開始しています。地域の中で子どもを産み、育てるための受け皿として、大きな一翼を担う環境が整備されたことに伴い、ここからさらに地域の子育て支援に注力していくこととします。

目指す姿

■子どもの笑顔が地域にあふれている。

施策の方向

施策1 地域における子育て支援の推進

本市の長年の課題であった、産科分娩の再開により、子どもを生み育てることのできる環境整備が一步前進しました。これに伴い、子どもたちの健やかな成長と、それぞれの子育て世帯の生活が充実したものにできるよう、人と人がつながり、地域で子どもを育てる環境を整えるとともに、多種多様な子育て支援サービスを展開します。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実
 - ・ 子育てサークルやネットワーク構築のための支援
 - ・ 子育てにかかる手当
 - ・ 放課後児童クラブ、子ども教室などの充実
 - ・ 児童虐待防止支援としての要保護児童対策地域協議会調整機関の充実、強化
 - ・ 要保護児童への支援等 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	23.7 (2018)	26.2	—
マタニティタクシー助成件数	小計	健康子育て課調査	→	件	8 (2017)	10	10
ファミリー・サポートセンター利用者数	小計	健康子育て課調査	→	人	255 (2017)	200	200

施策2 保育サービスの充実

本市の保育環境は、「待機児童ゼロ」の状態を維持するとともに、保育料を低く設定しており、子育て世帯の経済的負担を軽減しています。また、学童保育はすべての小学校区に設置し、保育サービスの充実を図っています。今後、少子化対策、人口増加策としてもこの方針を継続していくとともに、さらなる保育サービス環境を充実させます。

- ◆主要な取り組み
- ・待機児童ゼロの継続
 - ・保育料負担の軽減
 - ・各種保育サービスの充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	26.3 (2018)	28.7	—
放課後児童クラブ (学童保育) 実利用率	小計	健康子育て課調査	→	%	89.7 (2017)	95.0	95.0

施策3 子ども・保護者に対する健康の確保・増進

母性健康管理を充実させるとともに、子どもや保護者に対する子育て支援情報の提供や各種体験・相談事業等を行うことにより、思春期から妊娠、そして出産、子育てまで、切れ目のない支援体制を構築します。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 予防接種等や健診等の健康管理支援
 - ・ 子育てのための相談所・コーディネーターの設置
 - ・ 不妊治療への支援
 - ・ 産後のケア 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	26.1 (2018)	28.5	—
乳幼児健診受診率	小計	健康子育て課調査	↑	%	95.3 (2017)	98.0	98.9
育児関連教室への参加のべ人数	小計	健康子育て課調査	↑	人	516 (2017)	710	790

政策2 一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり

現状と課題

生活様式の多様化により、暮らし方や家族のあり方が従前とは変化しつつあり、各個人のライフスタイルが尊重される時代となっています。その一方で、まちの持続のためには、地域の中の住民同士による互助・互恵関係を強化していくことが必要不可欠であり、共に支え合う地域福祉の考え方の重要性が増しています。

また、高齢化の進行により増加しつつあるひとり暮らしの高齢者や高齢者のみで構成される世帯、認知症高齢者、また、心や身体に障がいのある方たちを含めた地域の方々が、安心して暮らせる生活環境を整えるとともに、それぞれが生きがいを持ち、活力ある生活が送れるようなまちづくりを行うことが重要です。

目指す姿

■地域に暮らすすべての人が、いきいきと人生を謳歌している。

施策の方向

施策1 安心を提供する地域福祉の啓発と充実

高齢者や障がいのある方々をはじめとした社会的に不利な状況（立場）にある方々を含め、地域に暮らすすべての方が、できる限り地域の中で自立し、安心して暮らすことのできるよう、各種支援を行うとともに、幸せに生活できるよう相互に助け合う「地域福祉」の考え方を啓発し、地域コミュニティの結束を強めます。

- ◆主要な取り組み
 - ・ コミュニティ強化への支援
 - ・ 暮らしに役立つ各種相談事業
 - ・ 社会的弱者への各種支援
 - ・ 民生委員活動の支援 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.1 (2018)	19.0	—
都留市ボランティア連絡会に登録している方の割合	小計	都留市ボランティア連絡会登録人数/住民基本台帳人口(10/1)	↑	%	12.5 (2017)	12.9	13.0

施策2 | **健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実**

高齢者の閉じこもりを防ぐことを目的に、地域における健康づくりの拠点として、地域住民が参加、活動、交流し、心身機能の維持・向上が実現できる高齢者の居場所づくりを推進するとともに、高齢者のライフスタイルに対応した生活支援サービス等を充実させます。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 都留市いーばしょづくり事業の充実
 - ・ 介護予防事業の推進
 - ・ 地域包括ケアの推進
 - ・ 高齢者福祉サービスの充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	20.8 (2018)	23.5	—
いーばしょづくり実施回数	小計	長寿介護課調査	↑	回	630 (2017)	1,040	1,260
いーばしょづくり開設数	累計	長寿介護課調査	↑	個所	16 (2017)	40	45

施策3 | **障がい者の自立と社会参加の支援**

障がいを持つ方への自立支援や生活支援などを行うとともに、相談窓口の整備を進め、障がいを持つ方が自らの意思で社会参加し、自立して活躍できるまちづくりを推進します。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 障がい者福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加への支援 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.9 (2018)	17.8	—
移動支援事業年間延 利用時間	小計	福祉課調査	↑	時間	96 (2018)	132	144
障害者地域活動支援 センター利用者数	小計	福祉課調査	→	人	20 (2017)	20	20

政策3 はつらつとして暮らせるまちづくり

現状と課題

本市に住むすべての方がいつまでも健康で暮らせるよう、若い世代の頃から健康管理意識を醸成していくことや、健康寿命の延伸に向けた取り組みを継続的に行っていくことが重要です。また、市民意識調査においては、地域医療体制に対する満足度が相対的に低かったこともあるため、安心して暮らせるよう、医療体制を充実させていく必要があります。

目指す姿

■すべての市民が健康づくりに取り組み、はつらつと暮らしている。

施策の方向

施策1 ライフステージに応じた健康づくり

健康診査等における疾病の早期発見、早期治療はもちろんのこと、疾病予防のための健康教室や保健指導等のほか、それぞれのライフステージに合わせた各種保健サービスや体力づくり事業を充実させ、健康づくりを推進します。また、こころの健康づくりについても関係機関などとの役割分担を通し、相談支援を強化します。

- ◆主要な取り組み
 - ・健康についての相談事業
 - ・各種健康診査等の実施
 - ・健康づくり教室等の開催 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.1 (2018)	17.1	—
健康ジム年間来館者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	30,161 (2018)	32,958	33,946
各種健康教育・相談機会の増加	小計	健康子育て課調査	↑	回	31 (2017)	34	35
各種がん検診平均受診率	小計	健康子育て課調査	↑	%	14.6 (2017)	17.0	18.0

施策2 地域医療体制の充実

夜間や休日・祝日の診療体制の充実を図り、いつでも身近な場所で適切な医療サービスが受けられ、また、医療機関と連携して在宅医療の充実が図れるよう、体制整備に努めます。さらに、健康科学大学看護学部との連携を模索し、市内の医療体制強化に努めます。

- ◆主要な取り組み
- ・医療情報の積極的な提供
 - ・救急医療体制の整備と充実
 - ・市内医療介護機関等における看護師の確保 等

成果指標

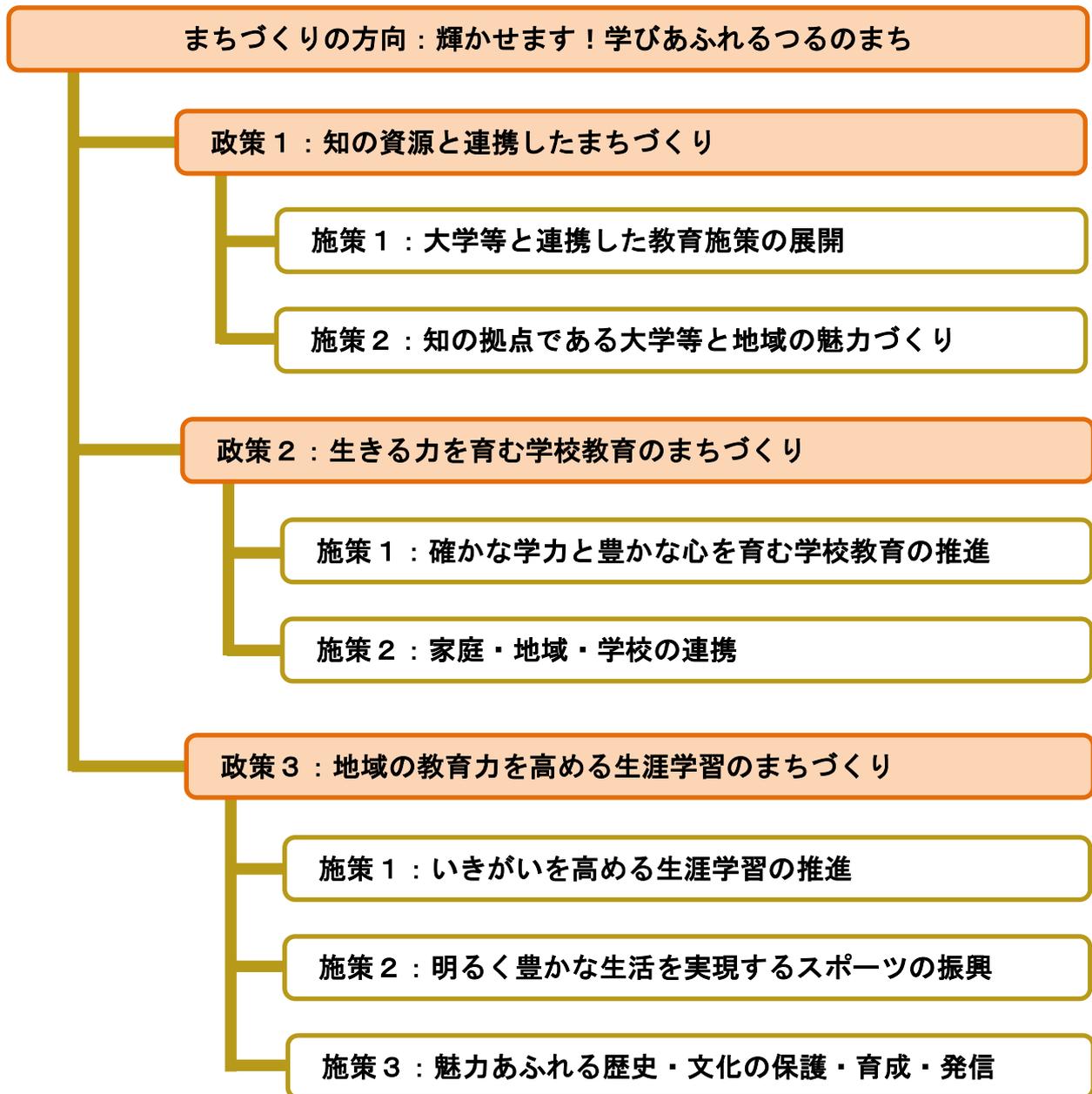
指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	15.6 (2018)	18.5	—
住民一人当たりの医師・歯科医師・薬剤師の人数	小計	統計による医師等の数/住民基本台帳人口(10/1)	↑	%	0.3 (2016)	—	0.5

Ⅲ. 教育分野「輝かせます！学びあふれるつるのまち」

私たちのまちの最大の特長である大学との密接な連携や、城下町という誇り高い歴史文化を活用し、子どもから高齢者までのすべての人が学び、教えることによって、誰もが地域の教育力向上に貢献できるまちにします。また、未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに、そして人間性豊かに育ち、「生きる力」を身に付けられるよう、学校教育を充実させます。

Ⅲ 教育分野

体系図



政策1 知の資源と連携したまちづくり

現状と課題

人口3万人程度の地方都市において、公立大学法人都留文科大学、健康科学大学、山梨県立産業技術短期大学校といった多くの高等教育機関が立地しているまちは全国でも例を見ません。この3つの高等教育機関は、地域との交流においても非常に市民と緊密であり、様々な取り組みが官学民の連携で行われています。また、今後は生涯活躍のまち・つる事業に関連した地域貢献事業や連携事業も想定され、こうした高等教育機関の果たす役割への期待は大きくなっています。

今後、こうした知の資源との積極的な連携等により、地域の教育力をさらに向上させる取り組みが求められています。

目指す姿

■多くの市民と学生がまちに集い、活気にあふれている。

施策の方向

施策1 大学等と連携した教育施策の展開

様々な知見を有する大学等と連携し、学校教育を含めた、様々な学習場面に応じた質の高い教育プログラムの提供体制を整備し、教育連携施策を展開することによって、学びのまちを実現します。

◆主要な取り組み ・学生アシスタントティーチャー 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	27.7 (2018)	30.1	—
学生アシスタントティーチャー配置人数	小計	学校教育課調査	↑	人	170 (2018)	400	400

施策2 知の拠点である大学等と地域の魅力づくり

本市に立地する大学等の魅力を向上させるための支援を積極的に行うとともに、大学等と地域との連携を促進し、双方の保有する地域資源、知的資源及び人的資源等を最大限に活用する中で、本市・大学等、両者の発展と地域振興を進め、魅力を向上させます。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 大学設立者としての運営支援
 - ・ キャンパス整備への支援
 - ・ 大学等・地域共同開催事業の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	23.3 (2018)	25.9	—
市内大学等があることによって以前よりまちの様子が良くなったと感じる方々の点数	小計	第6次都留市長期総合計画中期基本計画策定のための市民意識調査結果報告書参照	↑	点	20.0 (2018)	30.0	—

政策2 生きる力を育む学校教育のまちづくり

現状と課題

社会変化の激しさに伴い、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。こうした中、これからの時代を担う子どもたちが、自ら学び、課題を発見し、さらに、主体的に判断し、様々な課題を的確に解決する能力の醸成や、他人を思いやる心、感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きるための健康や体力など「生きる力」の育成が求められています。

また、学校だけでなく、家庭・行政も一体となって子どもたちの育成に関わっていく取り組みも必要です。

目指す姿

■子ども達が自ら進んでいろいろなことにチャレンジしている。

施策の方向

施策1 確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進

「生きる力」を育むための教育内容を充実させるとともに、本市ならではの特色ある学校教育を実現します。また、一人ひとりの教育ニーズや生活の状況に応じた学習環境を整備・充実させ、グローバル社会や複雑化する情報化社会へ対応できる能力を養います。

そして、子どもたちが学ぶ場所についてもより安全で快適な学習環境を整備し、次代を担う子どもたちの育成に努めます。

- ◆主要な取り組み
 - ・学習環境の整備・充実
 - ・学力向上に向けた施策の展開
 - ・特色ある学校教育の支援・充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.5 (2018)	20.3	—
英検5級以上合格者数	小計	学校教育課調査	↑	人	58 (2018)	95	100
国語への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	61.5 (2018)	68.5	70.5
算数・数学への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	71.9 (2018)	72.2	72.3

施策2 家庭・地域・学校の連携

次世代を担う子ども達が、主体的で心豊かに生きていくことができるよう、家庭、地域、学校が連携して、地域全体で子どもたちを育成していくことのできる環境を整備します。

- ◆主要な取り組み
 - ・学校運営を検証する組織の推進
 - ・地域ぐるみで学校を見守る体制の構築 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.4 (2018)	17.4	—
市内学校運営協議会 設置数	累計	学校教育課	→	校	1 (2018)	1	1

政策3 地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり

現状と課題

近年、人々は物質的豊かさが満たされる一方で、精神的豊かさを求めています。この傾向として、本市においても、多くの市民活動団体や、公民館学級などへの参加者が増加し、そしてまた、その内容は多様化・高度化しています。

また、高齢化が進む社会の中で、一人ひとりのニーズに合わせて自由に学ぶことのできる環境や、多様な学習機会の提供、学習の成果が適切に評価される仕組みづくりなど、人々が生涯にわたっていきいきとした生活を送るために生涯学習が担う役割は、ますますその重要性を増しています。

また、次世代を担う子ども達が、地域の中で生涯にわたってより良い人間形成の基礎を培うためにも、地域・家庭を含め、生涯学習を通して地域全体の教育力を向上させることが非常に重要です。

学習・文化・スポーツなどの活動機会をさらに拡大していくことにより、子どもから高齢者まで、多世代が学び、地域へと還元できる環境づくりを進めていきます。

目指す姿

■多くの市民が相互に教え、学び、得られた教育力を地域に還元している。

施策の方向

施策1 いきがいをもつ生涯学習の推進

市民の生涯学習ニーズを的確に把握し、生涯学習施設と提供プログラムを充実させるとともに、学ぶだけではなく、講師となり、得た知識を還元していく仕組みについても整備していきます。また、市民を主体とした生涯学習組織の立ち上げも視野に入れながら、既存ストックの活用なども含め、生涯学習を振興します。

- ◆主要な取り組み
 - ・学ぶための機会の充実
 - ・生涯学習施設の充実
 - ・提供プログラムの充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.7 (2018)	20.5	—
まちづくり交流センター施設利用率	小計	生涯学習課調査	↑	%	48.5 (2017)	52.9	54.6
うぐいすホール施設利用率	小計	生涯学習課調査	↑	%	65.0 (2017)	71.0	73.2

施策2 明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興

健康的な身体を維持するため、競技スポーツから、多くの方が参加できる軽スポーツの振興まで、幅広い事業を行いながら健康づくりを支援し、明るく豊かで、心身ともに充実した暮らしのできる環境を整備します。

◆主要な取り組み ・スポーツ機会の充実 ・スポーツ施設の管理・運営 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.0 (2018)	19.8	—
スポーツ教室等参加者充足率	小計	生涯学習課調査	↑	%	80.3 (2017)	94.0	95.0

施策3 魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信

本市の由緒ある歴史文化を積極的に保護・活用し、大名行列やお茶壺道中などをはじめとする歴史的行事、文化財、寺社などの特色ある文化資源などを活用し、情報発信するとともに、芸術文化の振興を合わせて行い、新たな文化が創出される歴史文化のまちづくりを推進します。

◆主要な取り組み ・芸術文化事業の推進
・歴史文化を活用した講座等の充実
・博物館・資料館等の管理運営 等

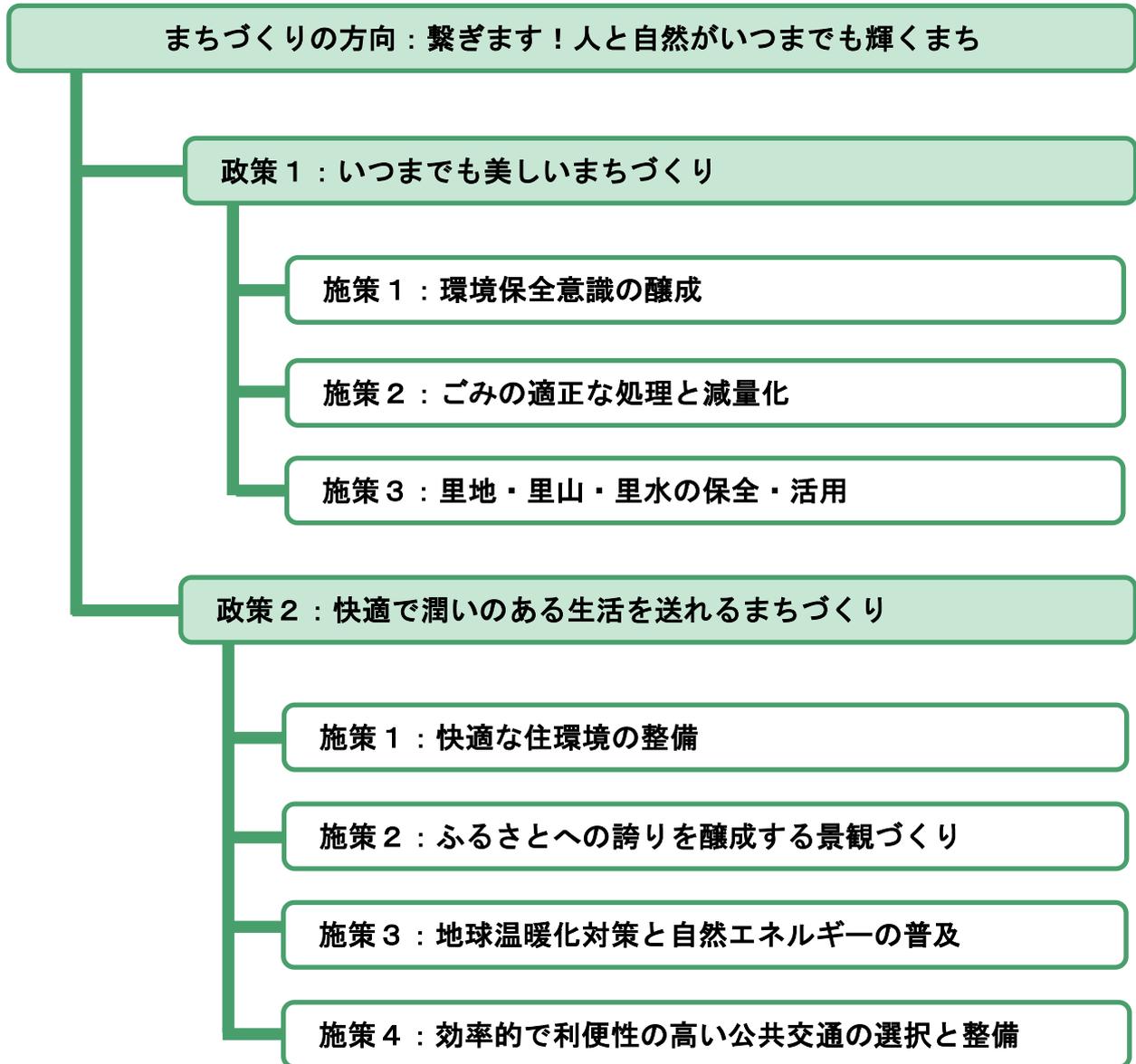
成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	22.2 (2018)	24.8	—
歴史文化施設入館者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	15,200 (2017)	16,609	17,108

Ⅳ. 生活・環境分野「繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち」

私たちが共存している地域環境資源は、今ここに生きる私たちだけのものではなく、将来の世代にわたって享受されるべきかけがえのないものです。このため、一人ひとりが環境負荷を軽減し、持続的な発展が可能となるようなまちを実現します。また、自然とまちの機能がバランスよく調和した、だれもが安全で快適に暮らせる魅力あるまちを目指し、環境や景観の保全に努めます。

体系図



政策1 いつまでも美しいまちづくり

現状と課題

本市は、東京都心から電車・自動車ですぐか1時間30分という距離に位置するにもかかわらず、自然環境が豊かなまちです。しかしながら、ゴミの不法投棄をはじめとした環境美化への課題は山積しています。特に、水資源豊かな地域であるにもかかわらず、河川のゴミは非常に多く、下流域の水質の悪化などにもつながっています。持続可能なまちを実現させるためにも、市民一丸となって環境を保全する意識の醸成が求められています。

目指す姿

■自然とふれあう機会が増加し、自然資源と一体化した生活が実現している。

施策の方向

施策1 環境保全意識の醸成

市民との協働や学校教育など、あらゆる場面を通じて、環境保全意識を啓発する活動などを行うことにより、美しいまちをつくる市民意識の醸成に努めます。

- ◆主要な取り組み
- ・環境保全活動の推進
 - ・環境教育の充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.4 (2018)	19.3	—
美化活動に参加した市民の人数	小計	地域環境課調査	↑	人	1,707 (2017)	2,740	3,000
エコ探検隊つる参加者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	39 (2017)	57	63

施策2 | **ごみの適正な処理と減量化**

持続可能なまちの実現のため、ごみの減量・再使用・再生利用への市民の関心を高めるための様々な取り組みをとおして、ごみの減量とリサイクルを推進します。また、事業者などに対する廃棄物の適正処理の徹底や、不法投棄防止のための取り組みを強化します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ごみの適正処理意識の啓発
 - ・リサイクルの推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	31.4 (2018)	33.6	—
市民1人1日あたりのごみの排出量	小計	一般廃棄物処理実態調査 (都留市分)	↓	g	987 (2017)	937	925

施策3 | **里地・里山・里水の保全・活用**

「里地・里山・里水」といった、本市の特長ともいえる自然資源の持続的な保全と発展的な活用を行うため、市民や環境団体など、様々な主体と連携を図り、各種事業を展開します。また、表層水のみならず、地下水保全についても条例の周知などを通して、各事業者等の適正な活用を進めます。

- ◆主要な取り組み
 - ・自然保護活動の推進
 - ・地下水保全の啓発・推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	25.4 (2018)	27.9	—
除塵機の設置基数	累計	地域環境課調査	↑	基	1 (2017)	4	5

政策2 快適で潤いのある生活を送れるまちづくり

現状と課題

「生活に便利で快適なまち」は、市民意識調査においても「都留市の将来のイメージ」として挙げられ、市民の方々は快適な住みよいまちになることを望んでいます。これに応じ、ライフラインとして欠かすことのできない上下水道の効率的・効果的な維持・整備や、人口減少や高齢化の影響により顕在化している空き家対策、また、地域公共交通対策などを講じる中で、今以上に利便性が高く、より自然と調和した潤いのある生活環境を創出していくことが求められています。

目指す姿

■地域の中ですべての人が輝き、憩い、交流している。

施策の方向

施策1 快適な住環境の整備

生活に欠かすことのできない上下水道の整備・普及や、下水道の代替である浄化槽の整備支援など、市民の生活環境と衛生度の向上に努めます。また、近年問題化が顕著である空き家対策にも注力し、快適な住環境を実現します。

- ◆主要な取り組み
- ・ 上水道の維持・更新
 - ・ 下水道等の生活排水処理機能の充実
 - ・ 空き家対策 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	20.1 (2018)	22.8	—
管理不全空家等の解決割合	累計	地域環境課調査	↑	%	82.1 (2017)	84.4	85.0
汚水処理人口普及率	小計	下水道処理人口、合併浄化槽処理人口/年度末住基人口数	↑	%	48.2 (2018)	54.5	55.7

施策2 | ふるさとへの誇りを醸成する景観づくり

豊かな自然環境と、城下町という由緒ある歴史文化が調和した景観を創造するための市民意識を醸成し、共有することで、住むことに誇りの持てる住環境を創出します。また、こうした景観を保全するための条例等を整備し、質の高い生活環境を実現します。

- ◆主要な取り組み
- ・景観についての市民懇談会の実施
 - ・都留市景観計画策定と執行管理 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.7 (2018)	19.6	—
環境教育・環境学習会実施回数	小計	地域環境課調査	↑	回	5 (2017)	8	9

施策3 | 地球温暖化対策と自然エネルギーの普及

地球温暖化対策のため、太陽光発電や小水力発電など、環境負荷を軽減させるクリーンエネルギーを普及させるとともに、省資源・省エネルギー意識を啓発し、持続可能な地域づくりを推進します。

- ◆主要な取り組み
- ・小水力発電所の運営と活用
 - ・省資源、省エネルギー意識の啓発
 - ・家庭用省エネルギー機器導入支援
 - ・大規模自然エネルギーの適正導入 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.4 (2018)	19.3	—
市役所庁舎使用電力のうち の家中川小水力市民発電 力充当率	小計	地域環境課調査	↑	%	42.7 (2017)	50.0	50.0
住宅用太陽光発電設備の 設備認定発電出力数累計	累計	地域環境課調査	↑	kW	2,073 (2017)	2,427	2,450

施策4 効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備

「日常生活の足」の確保に苦慮している方々が、利便性の高い暮らしが送れるよう、市民・事業者・行政の協働により、地域に適した公共交通システムを導入します。また、規制の枠に捉われない新たな仕組みや仕掛けを検討し、持続可能な公共交通を目指します。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 地域の実情に即した公共交通体系の構築
 - ・ 公共交通利用率向上の取り組み
 - ・ 地域主体の取り組みに対する支援 等

成果指標

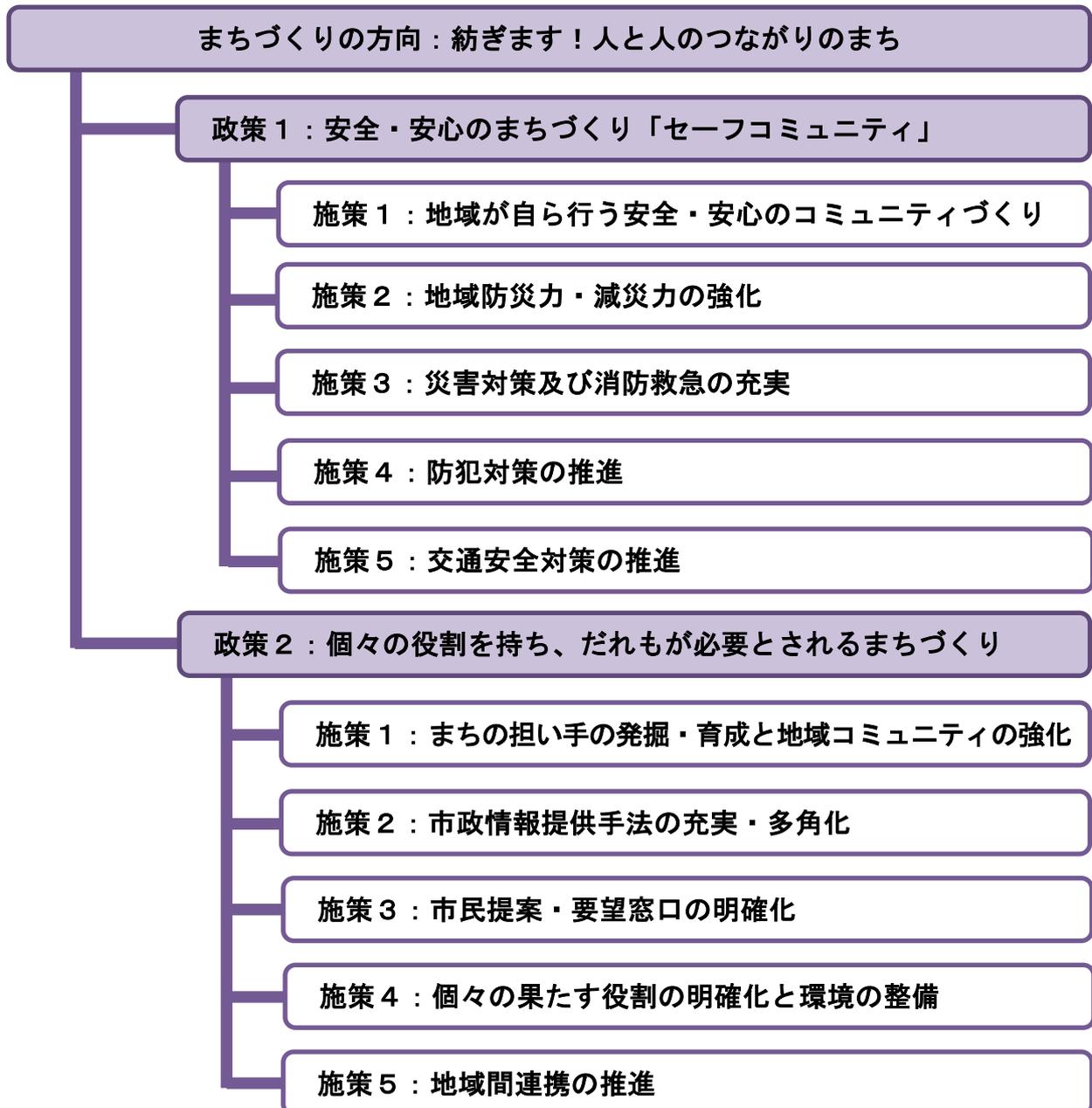
指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.0 (2018)	17.0	—
デマンドタクシー利用者数	小計	国庫補助対象期間（前年10月～当該9月）実績	↑	人	2,238 (2017)	2,282	2,293
補助対象路線（バス）利用者数	小計	国庫補助対象期間（前年10月～当該9月）実績	↑	人	27,876 (2017)	29,006	29,296

》 V. 安全・安心、コミュニティ分野「紡ぎます！人と人のつながりのまち」

市民が安心して暮らせるために、防災や防犯に強い体制を整備するとともに、情報の共有化を通じて、一人ひとりの防災・減災意識や防犯意識を向上させます。また、地域の誰もが思いやりと支え合いの心を持ち、助け合えるコミュニティを目指して、市民活動への参加やネットワークづくり、活動の場の提供など、協働の環境づくりを支援し、地域力を向上させます。

V
安全・安心、コミュニティ分野

体系図



政策1 安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」

現状と課題

平成 28 (2016) 年の熊本地震や平成 30 (2018) 年の北海道胆振東部地震などの震災をはじめ、平成 30 年 7 月豪雨、大型台風の相次ぐ上陸など、近年大規模な自然災害が数多く発生している状況です。また、日常の暮らしにおいても、凶悪犯罪の多発をはじめ、特殊詐欺や悪質商法によるトラブルの急増など、様々な問題が発生しています。

このような市民生活を取り巻く状況に対し、安全で安心に暮らせる地域社会の実現は大きなコミュニティ全体の課題となっており、公助の備えを充実するとともに、自助・共助の力を地域ごと一体となって向上させていく取り組みが重要です。

目指す姿

■市民一人ひとりの防災・防犯意識が高く、地域の連携によって安心して暮らしている。

施策の方向

施策 1 地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり

地域で活動する団体や市民、警察、医療機関、行政などが協働して、安全・安心なまちの実現に向けて取り組む「セーフコミュニティ」の認証と認証後の活動を実施し、地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまちを実現します。

- ◆主要な取り組み
- ・ 認証に向けたセーフコミュニティ対策委員会の運営
 - ・ 各地域活動団体との連携
 - ・ 取り組みの市民への周知 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	— (2018)	30.0	—
各対策委員会の開催件数	小計	地域環境課調査	↑	回	18 (2018)	36	36
セーフコミュニティの認知度	小計	安全・安心市民意識調査による	↑	%	15.4 (2018)	—	40.0

施策2 地域防災力・減災力の強化

地域の防災力や減災力を高めるため、市民一人ひとりの防災知識向上を図るとともに、いざというときの「共助」が機能するよう、各地域の防災組織を支援し、地域間の連携などを進め、地域ごとの防災機能を強化します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 防災資機材の充実
 - ・ 防災士資格取得の支援
 - ・ 消防団支援 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.4 (2018)	20.2	—
防災士と避難所運営リーダーのいる避難所数	累計	総務課調査	↑	個所	9 (2018)	14	16
消防団員の充足率	小計	市内団員数/都留市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例による定数	→	%	100 (2018)	100	100

施策3 災害対策及び消防救急の充実

想定される災害はもちろん、近年増加傾向にある都市型複合災害などに備えた自然災害防止事業の推進や、「公助」としての役割を果たすための体制を整備するとともに、いざという時の消防救急体制を充実させます。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 防災設備の充実
 - ・ 救急救命士の養成
 - ・ 防災体制の強化
 - ・ 救急体制の充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	18.0 (2018)	20.8	—
認定救急救命士の資格取得人数	累計	消防課調査	↑	人	15 (2018)	19	20

施策4 防犯対策の推進

犯罪や事故のない、誰もが安心して暮らせるまちを実現するため、防犯広報活動を積極的に展開し、防犯意識の醸成に努めるとともに、地域住民や各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携により、地域の安全対策を推進します。

- ◆主要な取り組み
- ・ 防犯意識の醸成
 - ・ 防犯灯整備など、防犯環境の整備
 - ・ 消費者安全対策の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.9 (2018)	17.8	—
市内犯罪認知件数	小計	地域環境課調査	↓	件	135 (2017)	127	125

施策5 交通安全対策の推進

児童や生徒の通学路安全対策や、高齢者や障がい者の交通の安全を確保するため、市民、事業所、行政などが協力し、交通安全対策を進めます。

- ◆主要な取り組み
- ・ 交通安全対策の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	22.5 (2018)	25.1	—
交通事故発生状況	小計	山梨県警HP 山梨県の交通事故統計	↓	件	32.6 (2017)	27.0	25.0
交通安全啓発活動	小計	地域環境課調査	↑	回	5 (2017)	7	7

政策2 個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり

現状と課題

少子高齢化の進行や人口減少を起因とする地域経済の冷え込みなどにより、行政のみによる施策展開だけでは対応できない地域課題が増加しています。

本市における地域課題の解決に向けては、市民と行政が互いに補い合い、連携・協力しながら地域課題やまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」の取り組みが一定の成果を上げてきました。人口が減少していく今後においては、地域コミュニティの一層の結束が重要であり、より多くの市民がまちづくりにかかわり、個々の役割を果たせるよう、「協働」に対する意識の向上や人材の発掘、情報の共有化、財政支援といった、推進体制の確立が必要となります。

また、市域だけでなく、市外地域との連携も深め、様々な分野における互惠関係を築くことが今後の地域発展には欠かせない視点となっています。

目指す姿

■市民一人ひとりが地域において必要とされ、いきいきと暮らしている。

施策の方向

施策1 まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化

地域の基礎的共同体である「自治会」組織への支援や、市民や事業者、市民活動団体、教育機関などや行政が互いに補い合い、連携・協力しながら、課題解決やまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」の推進などにより、すべての人が生活する環境の中で、相互に助け合える地域コミュニティを確立します。また、コミュニティリーダーとなる人材を育成し、より強固なコミュニティづくりを促進します。

- ◆主要な取り組み
- ・自治会組織、まちづくり組織への支援
 - ・各地域協働のまちづくりの推進
 - ・コミュニティ活動拠点の整備・充実 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.0 (2018)	15.1	—
協働のまちづくり推進 会連絡会及び研修会 の開催	小計	年度末実績	↑	回	3 (2017)	4	5

施策2 市政情報提供手法の充実・多角化

多くの市民がまちづくりに関わるためには、分かりやすい形で行政やまちづくりの情報を提供し、理解を進めていくことが重要であり、こうした情報等を活用しながら、まちづくりの方向性や地域経営の状況について、市民がチェックできる仕組みを構築します。また、ICTの活用などにより、情報提供手段の多角化を図り、効果的な手法により情報を提供します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 広報誌、ホームページ等の充実
 - ・ 情報提供手段の多角化 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	18.9 (2018)	21.7	—
ホームページアクセス数	累計	総務課調査	↑	view	1,287,157 (2018)	1,821,789	2,000,000

施策3 市民提案・要望窓口の明確化

市民の方々の、市政に関する提案や改善要望などを反映できるよう、広聴の窓口を明確化し、幅広く意見を募集します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ タウンミーティングの実施
 - ・ 目安箱等の設置推進
 - ・ 政策形成過程の透明化 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.7 (2018)	15.7	—
ふれあい集会開催数	小計	商務課調査	→	回	8 (2018)	8	8

施策4 個々の果たす役割の明確化と環境の整備

都留市自治基本条例に則り、一人ひとりのまちづくりを担う役割を明確化するとともに、誰もが人生において自身の思い描くような人生を実現できるような環境整備と支援を実施し、それぞれが自分らしく生きられるためのまちづくりを進めます。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 活動環境の整備支援
 - ・ 結婚相談の充実
 - ・ 男女共同参画の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	10.1 (2018)	13.2	—
結婚相談所への新規登録者数	累計	市民課調査	→	人	561 (2018)	597	609
市民活動支援センター利用者数	小計	地域環境課調査	↑	人	993 (2017)	1,100	1,150
「男女共同参画」という用語の理解度	小計	男女共同参画推進計画市民アンケートによる	↑	%	29.5 (2017)	50.0	—

施策5 地域間連携の推進

経済圏や生活圏を共にする近隣市町村や河川の流域でつながる地域、更には国際的な連携などの地域間連携を促進し、相互に尊重し、様々な分野で互助・互恵の関係を確立します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 地域間連携の強化
 - ・ 連携内容の充実
 - ・ 近隣自治体との連携 等

成果指標

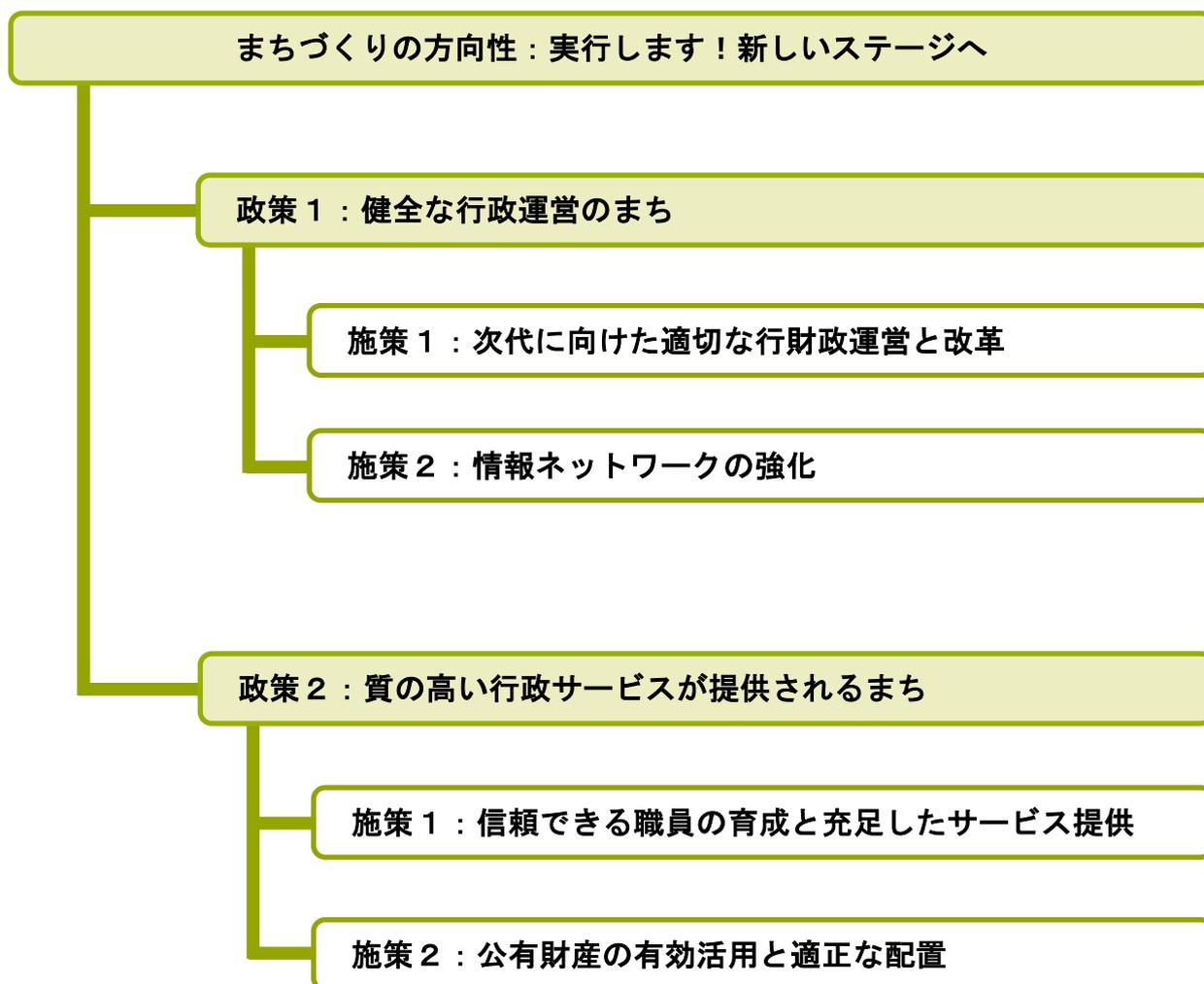
指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.0 (2018)	18.9	—
都留・ハンダーソンビル 友好委員会会員数	累計	総務課調査	→	人	101 (2017)	101	101

Ⅵ. 行財政分野「実行します！新しいステージへ」

行政が保有する知的・人的資源は、市民との共有物であるという認識に立ち、今ある資源を有効に活用するとともに、企業感覚を導入した新しい経営手法などにより、安定的かつ効率的な地域経営を進め、次の世代へ引き継いでいける行財政基盤を作ります。また、時代のニーズや社会の変化に柔軟かつ迅速に対応する組織づくりと新たな行政課題を解決していく創造力と行動力を備えた職員の育成に取り組み、質の高い行政組織を目指します。

Ⅵ
行財政分野

体系図



政策1 健全な行政運営のまち

現状と課題

近年の経済状況の悪化やインフラの更新、また、社会保障費の増加などに伴い、市の財政状況も行政需要を満たすだけの財源確保が難しい状況となっており、持続可能な地域社会を形成していくためには、施策の選択と集中をこまめに行い、見直しを重ねながら、効率的な行財政運営をしていくことが求められています。

また、こうした行財政運営を市民がチェックする体制整備のため、その内容と成果の積極的な公表、わかりやすい評価システムなどを確立していく必要があります。

目指す姿

■自主財源の確保と計画的な予算執行により、適正な行財政運営がなされている。

施策の方向

施策1 次代に向けた適切な行財政運営と改革

高度化・多様化する市民ニーズなど、増加する行政需要と厳しい財政状況を考慮し、市民の目線で、行財政改革に臨み、評価・成果を重視した行財政経営を展開します。

また、これまで以上に高度化・多様化する市民ニーズに的確に対応するため、民間のノウハウの活用や、民間活力の導入を進め、効率的で質の高い行政サービスを提供します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 事務事業の再編・整理
 - ・ 安定的な財源確保
 - ・ 行政サービスの民間委託の導入
 - ・ 指定管理制度等による施設管理の効率化
 - ・ 市民活動を活用した施設管理等の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.5 (2018)	15.5	—
ふるさと納税額	小計	企画課調査	↑	万円	909 (2017)	3,000	3,500

施策2 情報ネットワークの強化

業務システムをはじめ、市民への情報提供等もICT（情報・通信技術）を活用して情報化し、市民の利便性を高めるとともに、効率的な行政運営を進めます。

- ◆主要な取り組み
- ・ ICTを活用した市民サービスの向上
 - ・ ICTによる業務の効率化
 - ・ マイナンバー制度の円滑な導入と活用 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	11.2 (2018)	14.3	—
基幹系システムの稼働率	小計	企画課調査	→	%	99.9 (2018)	100	100
情報セキュリティに関する職員研修参加者数	小計	企画課調査	↑	人	47 (2018)	70	80

政策2 質の高い行政サービスが提供されるまち

現状と課題

複雑・高度化する社会システムや多様化する市民ニーズに的確に対応するため、成果重視を基本として職員の能力向上を図るとともに、効率的な公共施設の配置や運営体制を整え、質の高い行政サービスを提供します。

目指す姿

■市民の視点に立って質の高い行政サービスが提供されている。

施策の方向

施策1 信頼できる職員の育成と充足したサービス提供

職員の職務遂行能力や勤務実績などの適正な評価に基づく人事制度を導入するとともに、業務に必要な多くのスキルを身に付けられるような、幅広い職員研修メニューを整備し、職務における成果向上と職員の質を高めます。

また、職員の質を上げることによって満足度が高く、快適で住みやすいまちを実現する各種行政サービスを提供します。

- ◆主要な取り組み
 - ・ 成果主義の導入
 - ・ 職員研修事業の充実
 - ・ 各種行政サービスの提供 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	13.8 (2018)	16.8	—
職員1人あたりの研修参加回数	小計	総務課調査	↑	回	2.4 (2017)	3.6	4.0

施策 2 | **公有財産の有効活用と適正な配置**

公共施設をはじめとした公有財産を取りまく社会環境や市民ニーズの変化に適切に対応し、より質の高いサービスを提供していくために、公共施設等管理計画に基づき、公共施設のあり方を見直すとともに、公有財産全体の有効的な活用と適正な配置を検討し、実践します。

- ◆ 主要な取り組み
 - ・ 公共施設等管理計画に基づく公共施設の適正配置
 - ・ 耐震化と長寿命化の推進 等

成果指標

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.2 (2018)	15.3	—

成果指標一覧

■リーディング・プロジェクト

プロジェクト1：生涯活躍のまち・つる事業の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
生涯活躍のまち・つる事業に伴う移住者数	累計	企画課調査	↑	人	15 (2017)	128	137
生涯活躍のまち・つる事業に伴う企業誘致数	累計	企画課調査	↑	者	1 (2017)	4	4
要支援1の認定を受けるまでの健康寿命	小計	長寿介護課調査	↑	歳	男 82.5 (2017)	83.3	83.5
			↑	歳	女 84.4 (2017)	84.8	84.9
65歳以上の市民の介護認定率	小計	長寿介護課調査	→	%	15.7 (2017)	16.5	16.7

プロジェクト2：道の駅つるを中心とした地域活性化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
市内観光客入れ込み数	小計	産業課調査	↑	人	1,352,741 (2017)	1,390,000	1,400,000
市内事業所の従業者数	小計	経済センサス (企画課)	→	人	14,441 (2017)	14,400	14,400

プロジェクト3：「教育首都つる」のさらなる発展

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
学生アシスタントティーチャー配置人数	小計	学校教育課調査	↑	人	170 (2017)	400	400
国語への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	61.5 (2018)	68.5	70.5
算数・数学への興味・関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	71.9 (2018)	72.2	72.3

プロジェクト4：心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
合計特殊出生率	小計	人口動態統計、住民基本台帳人口(10/1)より算出	↑	—	1.24 (2017)	1.47	1.51
都留市に住み続けたいと思う人の割合	小計	「ずっと住みたい」「住み続けても良いかなと思っている」の合計	↑	%	71.5 (2017)	75.3	—

プロジェクト5：安全・安心のまち「セーフコミュニティ」の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
セーフコミュニティの認知度	小計	安全・安心市民意識調査(地域環境課)	↑	%	15.4 (2017)	—	40.0
交通事故発生状況	小計	山梨県警HP 山梨県の交通事故統計	↓	件	32.6 (2017)	27.0	25.0
以前に比べ、安全安心の度合いが増したと感じる市民割合	小計	市民意識調査	↑	%	— (2017)	30.0	—

■分野別計画

産業・基盤分野「創ります！しごととくらしの充実したまち」

政策1：豊かな産業のあるまちづくり

施策1：生涯活躍のまち・つる事業を中心とした企業誘致と産業創生

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.9 (2018)	20.7	—
企業誘致件数(生涯活躍のまち・つる事業以外も含む)	累計	契約行為等成立実績	↑	件	1 (2018)	4	5
都留市企業立地支援条例適用件数	累計	摘要年度実績	↑	件	0 (2017)	3	3

施策2：道の駅つるを核とした農林漁業の更なる発展

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	19.0 (2018)	21.7	—
道の駅つる生産者組合員登録総件数	累計	年度末実績	↑	件	173 (2017)	213	223
道の駅つる売上高(税込)	小計	年度末実績	↑	億円	2.6 (2017)	2.92	3.01

施策3：着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.0 (2018)	18.9	—
観光客(観光関連施設)入れ込み数	小計	産業課調査	↑	人	910,209 (2017)	970,000	1,000,000

市内宿泊者数	小計	産業課調査	↑	人	43,265 (2017)	48,314	50,000
市内民泊施設数	累計	産業課・企画課 調査	↑	軒	6 (2018)	7	8

施策4：地場産業・商業の活性化と起業の支援

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実している と思う」「結構充実 している」の合計	↑	%	9.7 (2018)	12.9	—
小売業・卸売業の年 間商品販売額	小計	調査実施年度 実績	↑	百万 円	44,903 (2016)	—	53,000
新規創業者支援補助 金交付者数	累計	産業課調査	↑	件	2 (2018)	11	14

施策5：移住促進と定住支援

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実している と思う」「結構充実 している」の合計	↑	%	14.1 (2018)	17.1	—
空家バンク成約数	小計	年度末実績	→	件	12 (2018)	12	12
年間社会増減	小計	住民基本台帳 での年間（1～ 12月）転入者 一年間転出者	→	人	△63 (2018)	158	157

政策2：快適で機能的なまちづくり

施策1：効率的・効果的なインフラの維持保全と機能保持

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実している と思う」「結構充実 している」の合計	↑	%	17.2 (2018)	20.0	—
市道舗装率	小計	建設課調査	↑	%	85.27 (2017)	86.39	86.67
市道及び橋梁の健全 性	小計	建設課調査	↑	%	73.68 (2017)	74.08	75.08

施策2：計画的な土地利用

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実している と思う」「結構充実 している」の合計	↑	%	10.2 (2018)	13.3	—
市民1人当たり都市 公園面積	小計	建設課調査	↑	m ²	6.9 (2017)	7.0	7.0
開発行為指導件数	小計	建設課調査	↑	件	12 (2017)	15	15

福祉・子育て・健康分野「育みます！優しさと元気のまち」

政策1：地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり

施策1：地域における子育て支援の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	23.7 (2018)	26.2	—
マタニティタクシー助成件数	小計	健康子育て課調査	→	件	8 (2017)	10	10
ファミリー・サポートセンター利用者数	小計	健康子育て課調査	→	人	255 (2017)	200	200

施策2：保育サービスの充実

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	26.3 (2018)	28.7	—
放課後児童クラブ（学童保育）実利用率	小計	健康子育て課調査	→	%	89.7 (2017)	95.0	95.0

施策3：子ども・保護者に対する健康の確保・増進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	26.1 (2018)	28.5	—
乳幼児健診受診率	小計	健康子育て課調査	↑	%	95.3 (2017)	98.0	98.9
育児関連教室への参加のべ人数	小計	健康子育て課調査	↑	人	516 (2017)	710	790

政策2：一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり

施策1：安心を提供する地域福祉の啓発と充実

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.1 (2018)	19.0	—
都留市ボランティア連絡会に登録している方の割合	小計	都留市ボランティア連絡会登録人数/住民基本台帳人口(10/1)	↑	%	12.5 (2017)	12.9	13.0

施策2：健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	20.8 (2018)	23.5	—
いーばしよづくり実施回数	小計	長寿介護課調査	↑	回	630 (2017)	1,040	1,260
いーばしよづくり開設数	累計	長寿介護課調査	↑	個所	16 (2017)	40	45

施策3：障がい者の自律と社会参加の支援

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.9 (2018)	17.8	—
移動支援事業年間延利用時間	小計	福祉課調査	↑	時間	96 (2018)	132	144
障害者地域活動支援センター利用者数	小計	福祉課調査	→	人	20 (2017)	20	20

政策3：はつらつとして暮らせるまちづくり

施策1：ライフステージに応じた健康づくり

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.1 (2018)	17.1	—
健康ジム年間来館者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	30,161 (2018)	32,958	33,946
各種健康教育・相談機会の増加	小計	健康子育て課調査	↑	回	31 (2017)	34	35
各種がん検診平均受診率	小計	健康子育て課調査	↑	%	14.6 (2017)	17.0	18.0

施策2：地域医療体制の充実

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	15.6 (2018)	18.5	—
住民一人当たりの医師・歯科医師・薬剤師の人数	小計	統計による医師等の数/住民基本台帳人口(10/1)	↑	%	0.3 (2016)	—	0.5

教育分野：輝かせます！学びあふれるつるのまち

政策1：知の資源と連携したまちづくり

施策1：大学等と連携した教育施策の展開

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	27.7 (2018)	30.1	—
学生アシスタントティーチャー配置人数	小計	学校教育課調査	↑	人	170 (2018)	400	400

施策2：知の拠点である大学等と地域の魅力づくり

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	23.3 (2018)	25.9	—
市内大学等があること によって以前よりまちの 様子が良くなったと感じ る方々の点数	小計	第6次都留市長期総合計画 中期基本計画策定のための市民 意識調査結果報告書参照	↑	点	20.0 (2018)	30.0	—

政策2：生きる力を育む学校教育のまちづくり

施策1：確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.5 (2018)	20.3	—
英検5級以上合格者数	小計	学校教育課調査	↑	人	58 (2018)	95	100
国語への興味・関心の 状況	小計	学校教育課調査	↑	%	61.5 (2018)	68.5	70.5
算数・数学への興味・ 関心の状況	小計	学校教育課調査	↑	%	71.9 (2018)	72.2	72.3

施策2：家庭・地域・学校の連携

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.4 (2018)	17.4	—
市内学校運営協議会 設置数	累計	学校教育課	→	校	1 (2018)	1	1

政策3：地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり

施策1：いきがいを高める生涯学習の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.7 (2018)	20.5	—
まちづくり交流センター施設利用率	小計	生涯学習課調査	↑	%	48.5 (2017)	52.9	54.6
うぐいすホール施設利用率	小計	生涯学習課調査	↑	%	65.0 (2017)	71.0	73.2

施策2：明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.0 (2018)	19.8	—
スポーツ教室等参加者充足率	小計	生涯学習課調査	↑	%	80.3 (2017)	94.0	95.0

施策3：魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	22.2 (2018)	24.8	—
歴史文化施設入館者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	15,200 (2017)	16,609	17,108

生活・環境分野：繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち

政策1：いつまでも美しいまちづくり

施策1：環境保全意識の醸成

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.4 (2018)	19.3	—
美化活動に参加した市民の人数	小計	地域環境課調査	↑	人	1,707 (2017)	2,740	3,000
エコ探検隊つる参加者数	小計	生涯学習課調査	↑	人	39 (2017)	57	63

施策2：ごみの適正な処理と減量化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	31.4 (2018)	33.6	—
市民1人1日あたりのごみの排出量	小計	一般廃棄物処理実態調査 (都留市分)	↓	g	987 (2017)	937	925

施策3：里地・里山・里水の保全・活用

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	25.4 (2018)	27.9	—
除塵機の設置基数	累計	地域環境課調査	↑	基	1 (2017)	4	5

政策2：快適で潤いのある生活を送れるまちづくり

施策1：快適な住環境の整備

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	20.1 (2018)	22.8	—
管理不全空家等の解決割合	累計	地域環境課調査	↑	%	82.1 (2017)	84.4	85.0
汚水処理人口普及率	小計	下水道処理人口、合併浄化槽処理人口/年度末住基人口数	↑	%	48.2 (2018)	54.5	55.7

施策2：ふるさとへの誇りを醸成する景観づくり

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.7 (2018)	19.6	—
環境教育・環境学習会実施回数	小計	地域環境課調査	↑	回	5 (2017)	8	9

施策3：地球温暖化対策と自然エネルギーの普及

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.4 (2018)	19.3	—
市役所庁舎使用電力のうちの中川小水力市民発電電力充当率	小計	地域環境課調査	↑	%	42.7 (2017)	50.0	50.0

住宅用太陽光発電設備の設備認定発電出力数累計	累計	地域環境課調査	↑	kW	2,073 (2017)	2,427	2,450
------------------------	----	---------	---	----	-----------------	-------	-------

施策4：効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.0 (2018)	17.0	—
デマンドタクシー利用者数	小計	国庫補助対象期間（前年10月～当該9月）実績	↑	人	2,238 (2017)	2,282	2,293
補助対象路線（バス）利用者数	小計	国庫補助対象期間（前年10月～当該9月）実績	↑	人	27,876 (2017)	29,006	29,296

安全・安心、コミュニティ分野：紡ぎます！人と人のつながりのまち

政策1：安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」

施策1：地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	— (2018)	30.0	—
各対策委員会の開催件数	小計	地域環境課調査	↑	回	18 (2018)	36	36
セーフコミュニティの認知度	小計	安全・安心市民意識調査による	↑	%	15.4 (2018)	—	40.0

施策2：地域防災力・減災力の強化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	17.4 (2018)	20.2	—
防災士と避難所運営リーダーのいる避難所数	累計	総務課調査	↑	個所	9 (2018)	14	16
消防団員の充足率	小計	市内団員数/都留市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例による定数	→	%	100 (2018)	100	100

施策3：災害対策及び消防救急の充実

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	18.0 (2018)	20.8	—
認定救急救命士の資格取得人数	累計	消防課調査	↑	人	15 (2018)	19	20

施策4：防犯対策の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	14.9 (2018)	17.8	—
市内犯罪認知件数	小計	地域環境課調査	↓	件	135 (2017)	127	125

施策5：交通安全対策の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	22.5 (2018)	25.1	—
交通事故発生状況	小計	山梨県警HP 山梨県の交通事故統計	↓	件	32.6 (2017)	27.0	25.0
交通安全啓発活動	小計	地域環境課調査	↑	回	5 (2017)	7	7

政策2：個々の役割を持ち、誰もが必要とされるまちづくり

施策1：まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.0 (2018)	15.1	—
協働のまちづくり推進 会連絡会及び研修会 の開催	小計	年度末実績	↑	回	3 (2017)	4	5

施策2：市政情報提供手法の充実・多角化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	18.9 (2018)	21.7	—
ホームページアクセス数	累計	総務課調査	↑	view	1,287,157 (2018)	1,821,789	2,000,000

施策3：市民提案・要望窓口の明確化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.7 (2018)	15.7	—
ふれあい集会開催数	小計	商務課調査	→	回	8 (2018)	8	8

施策4：個々の果たす役割の明確化と環境の整備

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	10.1 (2018)	13.2	—
結婚相談所への新規登録者数	累計	市民課調査	→	人	561 (2018)	597	609
市民活動支援センター利用者数	小計	地域環境課調査	↑	人	993 (2017)	1,100	1,150
「男女共同参画」という用語の理解度	小計	男女共同参画推進計画市民アンケートによる	↑	%	29.5 (2017)	50.0	—

施策5：地域間連携の推進

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	16.0 (2018)	18.9	—
都留・ハンダーソンビル友好委員会会員数	累計	総務課調査	→	人	101 (2017)	101	101

行財政分野：実行します！新しいステージへ

政策1：健全な行政運営のまち

施策1：次代に向けた適切な行財政運営と改革

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.5 (2018)	15.5	—
ふるさと納税額	小計	企画課調査	↑	万円	909 (2017)	3,000	3,500

施策2：情報ネットワークの強化

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	11.2 (2018)	14.3	—
基幹系システムの稼働率	小計	企画課調査	→	%	99.9 (2018)	100	100
情報セキュリティに関する職員研修参加者数	小計	企画課調査	↑	人	47 (2018)	70	80

政策2：質の高い行政サービスが提供されるまち

施策1：信頼できる職員の育成と充足したサービス提供

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	13.8 (2018)	16.8	—
職員1人あたりの研修参加回数	小計	総務課調査	↑	回	2.4 (2017)	3.6	4.0

施策2：公有財産の有効活用と適正な配置

指標	数値	算出方法	方向性	単位	現況値	中間目標 (2021)	目標値 (2022)
この施策の満足度	小計	「充実していると思う」「結構充実している」の合計	↑	%	12.2 (2018)	15.3	—

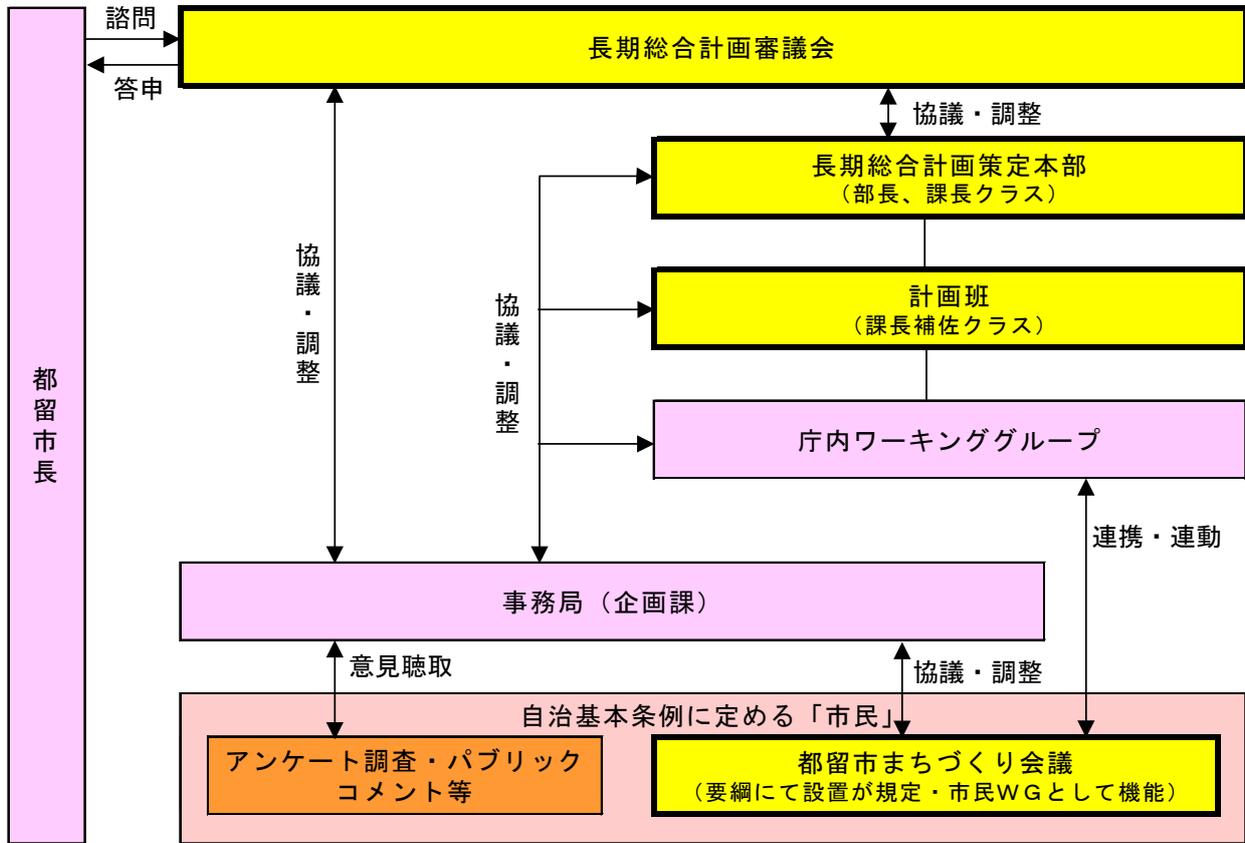
資 料 編

策定の経過・体制

1. 策定の経過

日 付		内 容
H29	11月21日	「第6次都留市長期総合計画中期基本計画策定のための市民意識調査の実施について」企画会議提出・決定
H30	1月16日	市民意識調査発送（対象：16歳以上市民2,064名）
	1月30日	市民意識調査〆切（有効回収数617票）
	4月17日	「都留市のこれまでの人口推移と将来人口推計【平成29年度版】について」企画会議提出・決定
	4月20日	都留市長期総合計画策定本部立上げ
	5月8日	「第6次都留市長期総合計画中期基本計画策定方針」企画会議提出・決定
	6月27日	第1回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定市民・職員ワーキンググループ開催
	7月11日	第2回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定市民・職員ワーキンググループ開催
	7月24日	第3回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定市民・職員ワーキンググループ開催
	8月21日	第4回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定市民・職員ワーキンググループ開催
	10月9日	第2回都留市長期総合計画策定本部開催
	11月21日	第1回都留市長期総合計画審議会開催・市長より諮問
	12月18日	第2回都留市長期総合計画審議会開催
	12月25日	第3回都留市長期総合計画策定本部開催
H31	1月15日	第6次都留市長期総合計画中期基本計画（案）の内容確認と各課施策指標・目標値（案）のチェックについて調査（各課メール調査）
	1月29日	第4回都留市長期総合計画審議会開催
	2月7日	第6次都留市長期総合計画中期基本計画パブリック・コメント（～2/28）
	3月15日	都留市長期総合計画審議会より答申
	3月19日	「第6次都留市長期総合計画中期基本計画について」企画会議提出・決定
	3月25日	第4回都留市長期総合計画策定本部開催・計画の承認

2. 策定の体制



長期総合計画審議会

1. 委員名簿（敬称略 50 音順）

番号	氏名	所属	役職
1	相川 義美	地域協働のまちづくり推進会連絡会会長	
2	尾形 恵吾	都留青年会議所理事長	
3	織田 宗覚	都留市社会福祉協議会会長	副会長
4	小俣 正孝	農業委員会会長	
5	北村 卓士	山梨中央銀行都留支店支店長	会長
6	小林 清哲	都留市経営者連絡協議会会長	
7	佐藤 秀子	都留市女性団体連絡協議会会長	
8	重原 達也	都留市商工会事務局長	副会長
9	鈴木 健大	都留文科大学	
10	須田 俊介	都留市小中学校PTA連合会会長	
11	庭山 恵梨	公募	
12	山中 敏枝	生涯活躍のまち・つる推進協会職員	

第1回都留市自治基本条例検証及び第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定市民・職員ワーキンググループ

1. ワーキンググループ名簿（敬称略 50 音順）

番号	氏名	所属
1	中村 吉秀	公募市民
2	相川 哲一	公募市民
3	別所 忠夫	公募市民
4	細田 浩一	公募市民
5	芦名 美彩	公募市民（文大生）
6	石丸 みず穂	公募市民（文大生）
7	佐藤 理恵	職員
8	齊藤 友子	職員
9	飯島 知也	職員
10	赤澤 勇人	職員

【諮問】

都企発第32号
平成30年11月21日



都留市長期総合計画審議会長 殿

都留市長 堀内 富久

都留市長期総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

<諮問事項>

第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定について

<諮問理由>

本市では、平成28年度より、第6次の都留市長期総合計画をスタートさせ、基本構想に位置付けられる「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現に向け、鋭意取り組みを継続しているところであります。

本年度30年度までの前期基本計画の取り組みによって、いくつかのまちづくりの萌芽が見られるようにはなりましたが、まだ多くの解決すべき地域課題が山積しております。

特に、人口減少・少子高齢化問題につきましては、全国的な課題として国を挙げての取り組みが実施されておりますが、解決の糸口はいまだ見えず、本市においても最重要の課題として位置付けられています。引き続き、行政をはじめ、市民が一丸となり、まちの魅力を向上させ、若者をはじめとした移住・定住を促進する中で、地域産業の振興を図りつつ、課題解決への具体的な道筋が求められているといえます。

こうした中、本市では、今後、行財政改革をより一層推進するとともに、魅力ある地域資源を最大限に活用し、市民との協働を進めながら、将来にわたって持続可能なまちづくりに取り組んでいくため、その具体的手立てを示すものとして、平成31年度を初年度とする4年間の市政運営の羅針盤となる「第6次都留市長期総合計画中期基本計画」の策定に関して諮問し、意見を求めるものです。

【答 申】

平成 31 年 3 月 15 日



都留市長 堀 内 富 久 殿

都留市長期総合計画審議会
会 長 北 村 卓 士

都留市長期総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、下記の事項について答申します。

記

<答申事項>

第6次都留市長期総合計画中期基本計画（案）について



第6次都留市長期総合計画（中期基本計画）

発行：平成31（2019）年3月

改訂：令和2（2020）年3月

山梨県都留市

都留市上谷一丁目1番1号 ☎0554（43）1111（代表）

<https://www.city.tsuru.yamanashi.jp/>

